EPSON

CP-920Z
ユーザーズガイド



準備

カメラの基本操作

応用的な撮影

カメラの機能

オプションの紹介

困ったときは

ー本書はすぐに取り出して見られる場所に保管してご活用くださいー

4013837-00
C01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。



開梱時にお読みください

開梱から撮影までの手順の流れを説明しています。



安全にお使いいただくために/サービス・サポートのご案内

安全にお使いいただくためのご注意、困ったときの問い合わせ先などを記載しています。
ご使用の前に必ずお読みください。



本書です

CP-920Z ユーザーズガイド

カメラを使用するまでの手順、カメラの使い方、トラブルの解決方法などを説明しています。
巻末には、一目でわかる操作説明書『クイックガイド』があります。必要に応じて切り取り、ご活用ください。



オプション　パソコン接続キット（CP92PCK）

CP-920Zをコンピュータに接続するためのUSBケーブル・ソフトウェアが同梱されています。コンピュータの接続方法、ソフトウェアの起動方法、使い方については同梱の『スタートアップガイド』または『ソフトウェアガイド（電子マニュアル）』をお読みください。

本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

使用前の準備の仕方について説明しています。

準備

撮影の仕方、画像再生の仕方など、カメラの基本的な操作について説明しています。

カメラの基本操作

高度な撮影方法について説明しています。

応用的な撮影

カメラで設定できる機能について説明しています。

カメラの機能

オプションについて説明しています。

オプションの紹介

困ったときの対処について説明しています。

困ったときは

付録

目次

カメラの機能 71

オプションの紹介 85

困ったときは 89

付録 101

本書中のマークと表記について

マーク

本書中、いくつかのマークを用いて重要事項を説明しています。マークの付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、カメラ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

ポイント　お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。

用語※1　分かりにくい用語の説明を欄外に記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows 2000 、Windows Meと表記しています。また、Windows 98、Windows 2000、Windows Me を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows 98/2000/Me］のように Windowsの表記を省略することがあります。

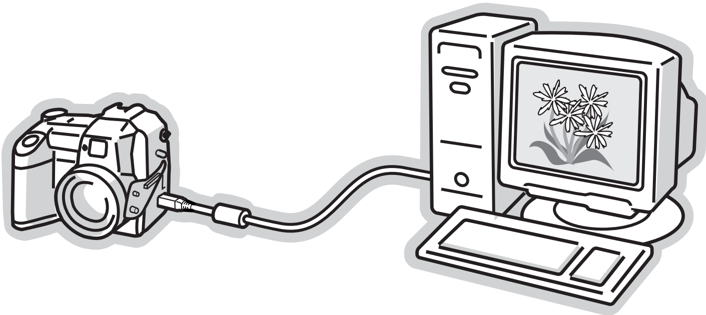
Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、iMac、漢字 Talk、AppleTalk、QuickTime は Apple Computer Inc. の商標または登録商標です。
CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は SanDisk Corporation のトレードマークであり、CFA（CompactFlash Association）にライセンスされています。

商標DPOF™は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フィルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。

DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の規格略称です。

そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルカメラ CP-920Z の特長



高画質・豊富な機能

- 光学3倍ズームレンズ、334万画素CCD搭載。2048x1536ピクセルの高画質な画像を実現します。
  ハイパーで撮影すると、エプソン独自の画像処理技術Hypict（ハイパーピクチャテクノロジー）により、約484万画素、2544x1904ピクセルの高精細画像を出力可能です。
- PRINT Image Matchingに対応していますので、対応するプリンタで印刷すると、撮影時に意図した通りの、最適な色合いで印刷することができます。
- 音声メモ機能で画像に音声を録音できます。カメラの内蔵スピーカで、音声を再生することもできます。
- 露出やホワイトバランスの設定を撮影に応じて変更できます。撮影者の意図する画像を撮影できます。
- 連写やインターバル撮影、ステッチ撮影など機能が充実しています。
- 最大35秒までの動画が撮影できます。音声付きの動画撮影も可能です。
- DPOF対応のプリントアウト指定ファイルを作成できるプリントボタンを搭載しています。撮影後すぐにカメラで画像を確認しながら、印刷したい画像を指定します。

簡単・快適操作

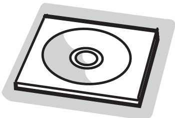
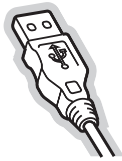
- 撮影処理に必要な時間を短縮。撮影チャンスを逃しません。
- 撮影した画像を、撮影後すぐに確認。撮影に失敗した場合でもすぐに削除できます。
- 画面に従ってボタンを押すだけの簡単操作で、カメラの設定変更が簡単にできます。
- 印刷したい画像の枚数や、明るさなどを設定できるプリント設定機能が付いています。

コンピュータとの簡単接続!!

オプション「パソコン接続キット」を使って、コンピュータに簡単接続。
USB接続に対応しています。

もっと便利に！！　必要に応じてお買い求めください。

【パソコン接続キット】

CP-920ZをコンピュータにUSB接続するためのＵＳＢケーブルと、以下のソフトウェアが同梱されています。

■CP-920Z USB ドライバ
カメラとコンピュータを接続するためのソフトウェアです。

■EPSON Photo!4
カメラやカードドライブ、またはコンピュータのハードディスク内の画像や音声メモ、動画を閲覧、管理するためのソフトウェアです。電子メールで送信するための画像作成、デスクトップの壁紙作成などの機能を備えています。

■EPSON PhotoQuicker
画像を簡単に印刷するためのソフトウェアです。
- EPSON PM シリーズ対応プリンタで簡単に印刷することができます。
- 四辺フチなし設定やロール紙への連続印刷など、さまざまなレイアウト印刷ができます。

■EPSON オートダウンローダ
カメラ内のすべての画像、音声、動画をコンピュータに簡単に転送するためのソフトウェアです。転送した後の画像をカメラ内から削除したり、転送後に指定したアプリケーションを起動させることなどもできます。

■Panorama Boutique Light EP
ステッチ撮影機能を使って撮影した複数枚の画像を、一枚の画像に合成することができます。

■EPSON ファイルコンバータ
コンピュータ内の画像や音声ファイルを、カメラで再生可能なファイル形式に変換するソフトウェアです。また、画面キャプチャ機能を使って、コンピュータの画面をそのままカメラで再生可能なファイル形式に変換することもできます。

【AC アダプタ】

コンピュータに画像を転送する、テレビで画像を再生させるときなど、電池の残量を心配する必要がありません。

【バッテリーキット】

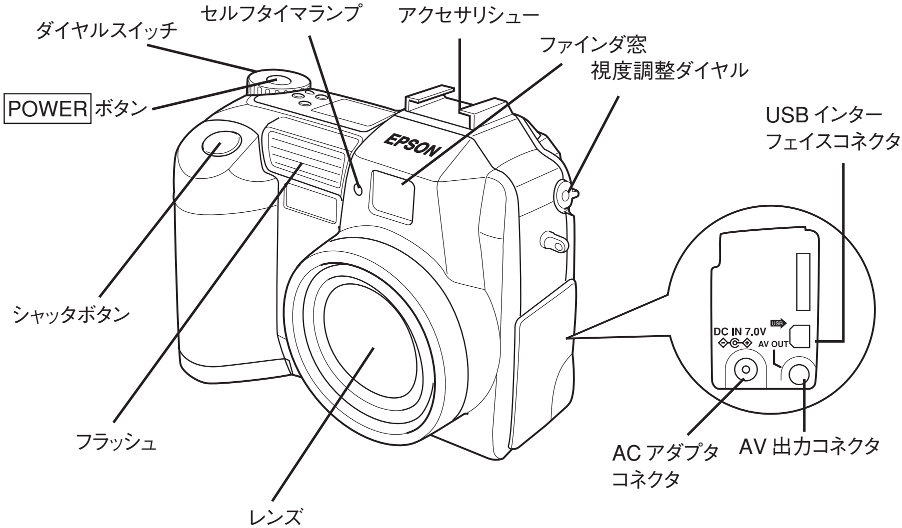
充電器、電源ケーブルと、ニッケル水素電池（4本）がセットになっています。

【バッテリーパック】

ニッケル水素電池（4本）のみのセットです。交換用電池としてお買い求めください。

各部の名称と働き

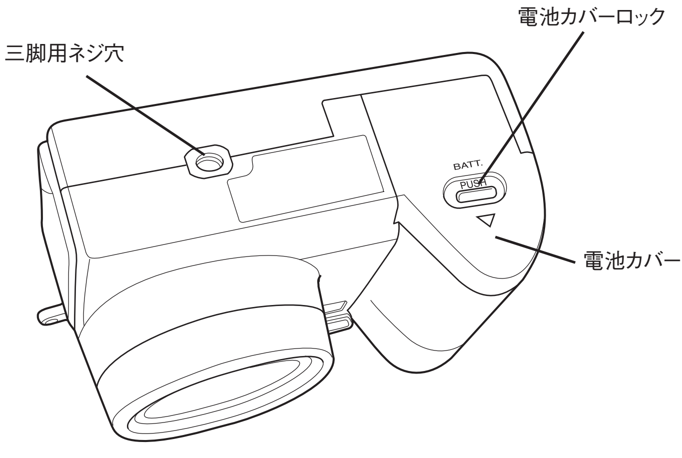
前面



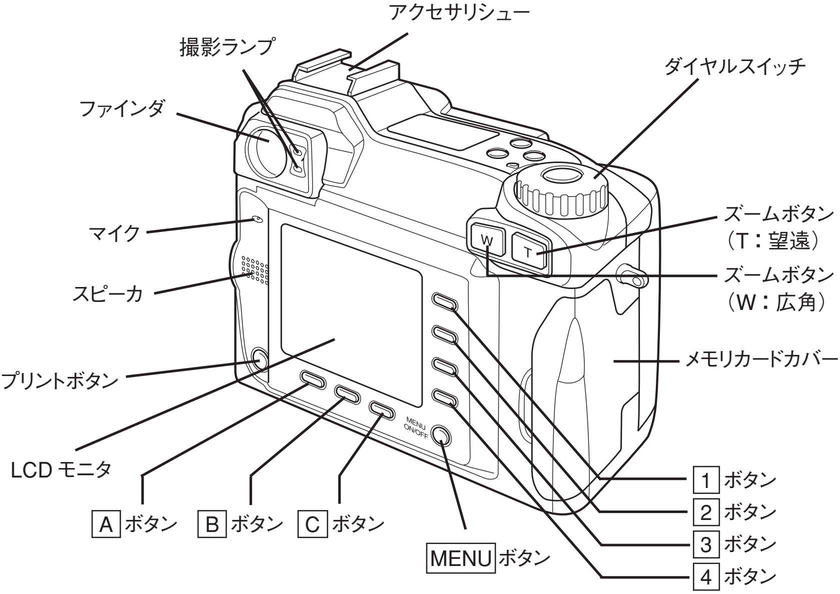
注意

- フラッシュを手で触らないでください。
- フラッシュが汚れていたら、乾いた布で汚れを拭いてから、撮影してください。

底面

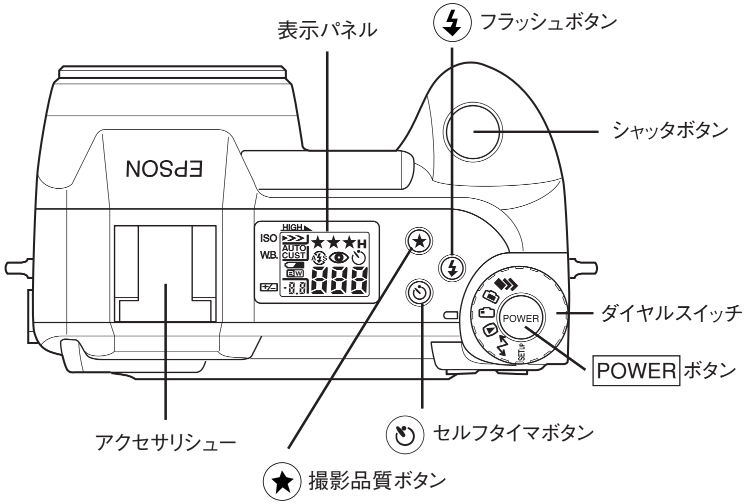


背面

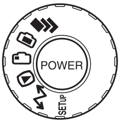


> 注意
>
> スピーカの近くにクレジットカードやキャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近付けないでください。データが壊れて使用できなくなるおそれがあります。

上面



ダイヤルスイッチ



POWER ：カメラの電源をオン / オフにします。

：**特殊撮影モード**
動画撮影・連写撮影・インターバル撮影・ステッチ撮影をすることができます。

：**LCD 撮影モード**
LCD モニタを使用して撮影します。画面を確認しながら撮影することができます。

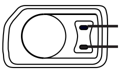
：**ファインダ撮影モード**
ファインダを使用して撮影します。

：**再生モード**
撮影した画像をLCD モニタに表示することや、削除、プリント指定などの操作ができます。

：**拡張機能／接続モード**
プリント指定した画像がある場合、またコンピュータと接続する場合に使います。

SETUP ：**セットアップモード**
カメラの機能を設定する場合に使います。

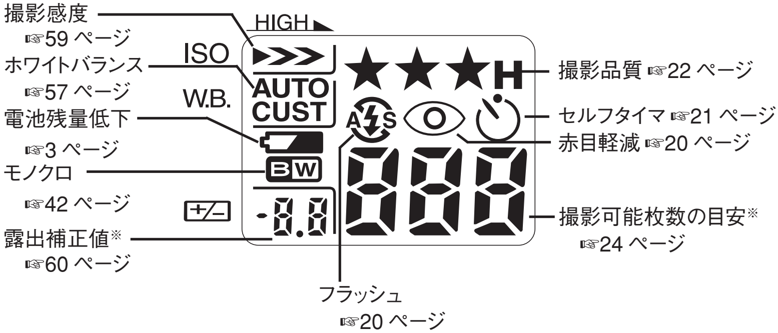
撮影ランプ



色	点灯または点滅	カメラの状態
緑	点滅	・電源投入時 ・ピント合わせ中 ・動画撮影中 ・コンピュータと接続中（メモリカードにデータを書き込み中、またはメモリカードのデータを読み込み中） ・レンズキャップを付けたまま、ダイヤルスイッチを 、 または にして電源をオンにした時 ・メモリカードがセットされていない時
	点灯	・撮影準備完了 ・フォーカスロック中 ・セルフタイマ起動中
赤	点滅	・容量オーバーによるメモリカード書き込み不可状態 ・電池残量低下警告
	点灯	・エラー状態 92 ページ「カメラ本体のトラブル」を参照し、対処してください。

表示パネル

イラストは説明のため、すべての表示を点灯させたものです。

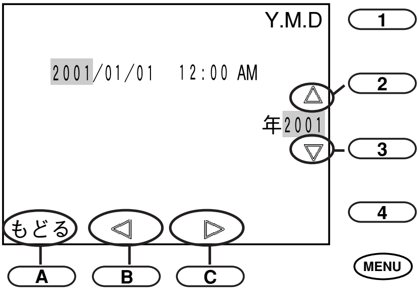


※露出補正値、撮影可能枚数以外の表示

表示	状態
	カメラ内の撮影した画像のデータをメモリカードに転送中
Int	インターバル撮影時　撮影待機中
rEc	音声メモ録音中
SEt	セットアップモード中
8.0　30	プログラム撮影・マニュアル撮影時、絞り値とシャッタ速度表示(シャッタボタン半押し) 例： 絞り F8.0 , シャッタ速度 1/30 秒

LCD モニタに表示されるメニューの操作方法

実行する項目に対応するボタンを押します。



本書中では、「A ボタンを押す」 などと記載しています。

LCD モニタに表示されるメニューを消すには MENU ボタンを押してください。

ファインダ撮影時に MENU ボタンを押すと、LCD モニタにメニュー画面が表示され、撮影の設定ができます。再度 MENU ボタンを押すか、シャッタボタンを軽く押すと、メニュー画面が消えます。

準備

ここでは、カメラを使用するまでの準備について説明しています。

電池をセットする

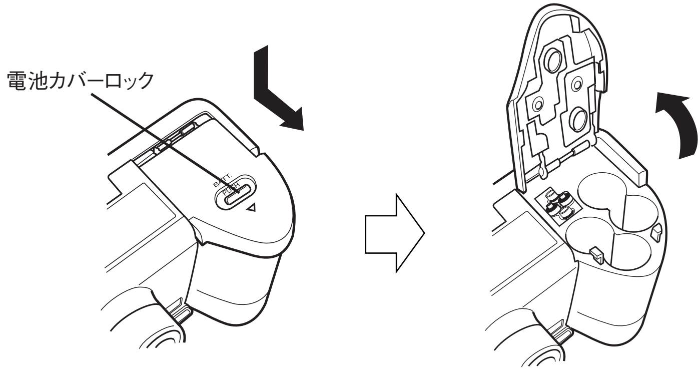
同梱のアルカリ乾電池をカメラにセットする手順について説明します。

> ポイント
> 安全にお使いいただくためのご注意を、別冊『安全にお使いいただくために／サービス・サポートのご案内』に記載しています。必ずお読みください。

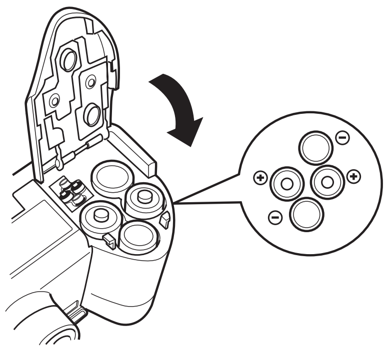
電池をセットする

1 カメラの電源がオフになっていることを確認します。

2 電池カバーロックを押しながら、電池カバーを矢印の方向にスライドさせ開けます。

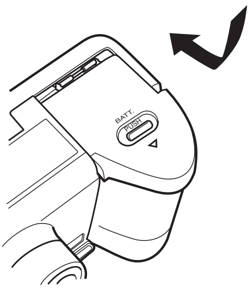


3 電池の⊕ ⊖ の向きに注意して、電池をセットします。



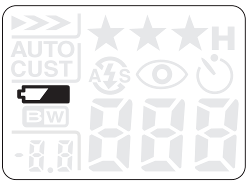
> 注意
> 電池をカメラにセットするときは、電池の ⊕ ⊖ の向きに注意して正しくセットしてください。向きを間違えると、液もれや発熱などにより、けがや汚損、あるいはカメラが損傷するおそれがあります。

4 電池カバーを押さえながらスライドさせ、しっかりと閉じます。



電池残量の確認

電池残量が少なくなると、表示パネルにアイコンが表示されます。



点灯　電池残量が少なくなっています。交換用の電池を用意してください。

点滅　電池がなくなり、撮影することができません。アイコンが点滅した後（同時に、撮影ランプが赤色に点滅します）、自動的に電源がオフになります。

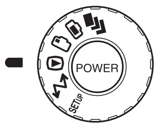
電池寿命については、109 ページをご覧ください。

日時をセットする

初めてお使いになるときにセットします。
正しい日時を設定しなくても撮影することはできますが、撮影した画像に正しい日時を記録することができません。

> ポイント
> - カメラの電池を抜いても、設定した日時は約3日間記憶されています(ただし、カメラに初めて電池を入れてから、16時間以上経過している場合)。
> - 長時間電池を抜いていた場合には、再度設定し直してください。
> - 日時の設定は、セットアップ画面で行うことができます（☞77 ページ）。

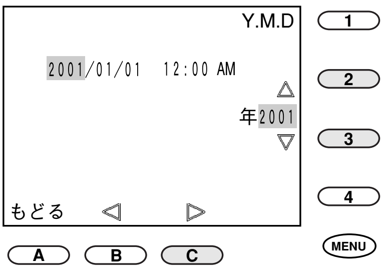
1 ダイヤルスイッチを▶にし、[POWER]ボタンを押して電源をオンにします。



2 [2][3]ボタンで数値を変更し、[C]ボタンで次の項目に移動します。

[1]ボタンを押すと、年.月.日の順番を変えることができます。

Y.M.D　年.月.日
M.D.Y　月.日.年
D.M.Y　日.月.年



> [2]（または [3]）ボタンを押し続けると、数値を早送りすることができます。

3 [A]ボタンを押すと設定が有効になります。

4 [POWER]ボタンを押して電源をオフにします。

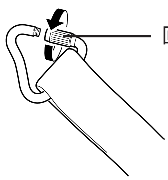
ショルダーストラップ・レンズキャップを取り付ける

同梱のショルダーストラップ･レンズキャップを取り付けておくと､持ち運びに便利です。
ショルダーストラップをカメラに取り付けてから､レンズキャップをカメラに取り付けます。

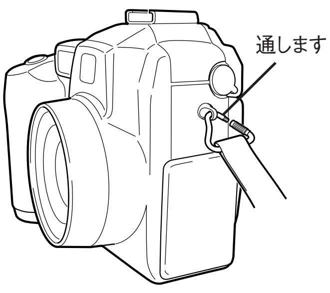
> **注意** カメラは精密な機械・電子部品で作られています。カメラを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。動作不良や故障の原因になります。
> 撮影時や持ち運ぶときは、万が一の落下に備え、ストラップを肩に掛けるなどしてお使いください。また、カメラを使用しないときは、カメラケースに入れて保管してください。

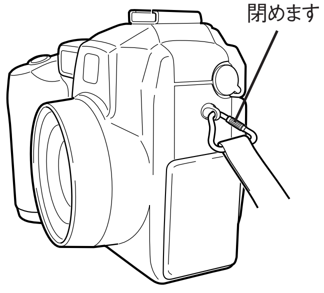
ショルダーストラップを取り付ける

1 **金具のネジを回して開けます。**

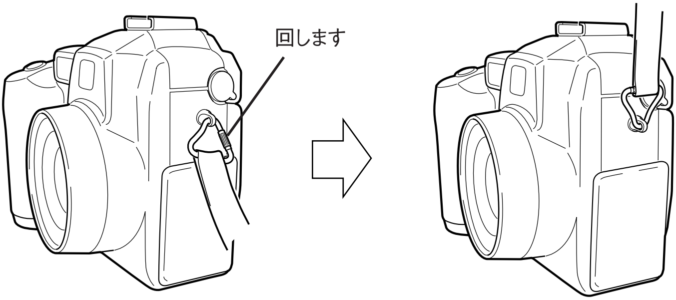


2 **カメラ側の取り付け部に金具を通してネジを閉めます。**





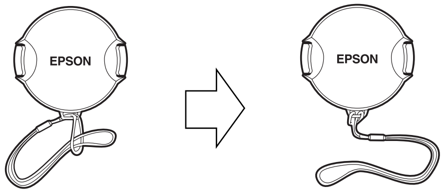
3 ネジ部分をショルダーストラップ側に回します。



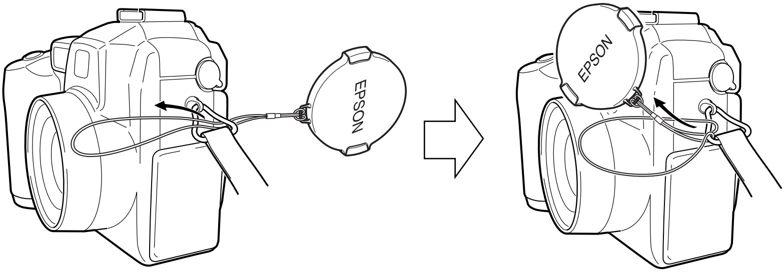
4 反対側も**1**～**3**の手順で取り付けます。

レンズキャップを取り付ける

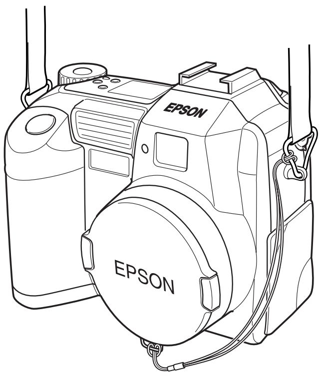
1 レンズキャップひもの輪の小さい方をレンズキャップの穴に通し、その輪に反対側の先端を通します。



2 レンズキャップひもをカメラ側の取り付け部に通し、その輪にレンズキャップを通します。

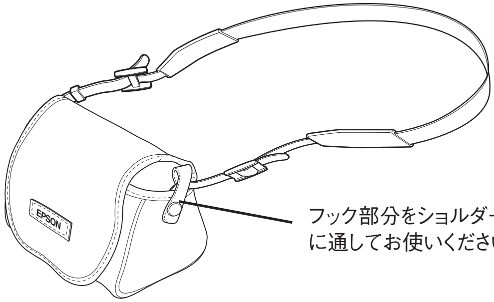


3 レンズキャップをカメラに取り付けます。



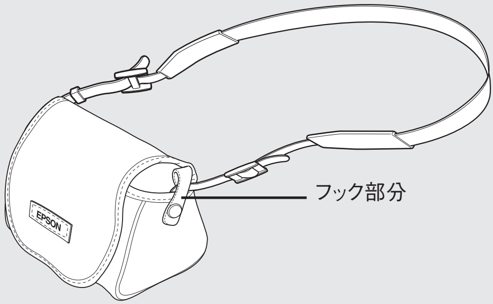
カメラケースの使い方

カメラを持ち運ぶときや保管するときは、同梱のカメラケースに収納します。



注意

カメラを収納した状態で、フック部分を手に持ったり、ベルトに通して使用しないでください。 スナップが外れてカメラが落下するおそれがあります。



メモリカードをセットする

メモリカードはカメラにセットされて出荷されます。撮影前にメモリカードがセットされていることを確認してください。
メモリカードのセット、取り外しは以下の手順に従ってください。

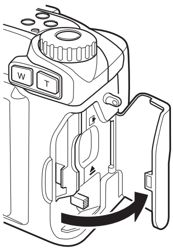
> **注意**
> メモリカードは精密な電子部品で作られています。次のような取り扱いや操作は、動作不良や故障の原因になりますので絶対に避けてください。
> - 端子部に手や金属で触れないでください。静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。取り扱う前に、接地されている金属に手を触れるなどして、必ず身体に帯電している静電気を放電してください。
> - 曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
> - 熱・水分・直射日光を避けて使用、保管してください。
> - 分解や改造はしないでください。
> - カメラの電源を入れたまま、メモリカードのセット・取り外しをしないでください。

メモリカードをセットする

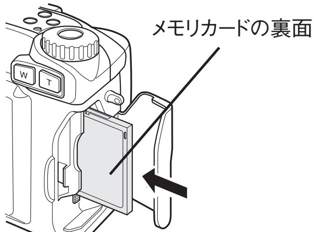
1 カメラの電源がオフになっていることを確認します。

> **注意**
> メモリカードのセット・取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。カメラ本体やメモリカードが破損するおそれがあります。

2 メモリカードカバーを開きます。



3 メモリカードの表裏の向きに注意して、メモリカードを突き当たるまでまっすぐに差し込みます。



4 メモリカードカバーを閉じます。

メモリカードを取り出す

次の場合、メモリカードを取り出す必要があります。

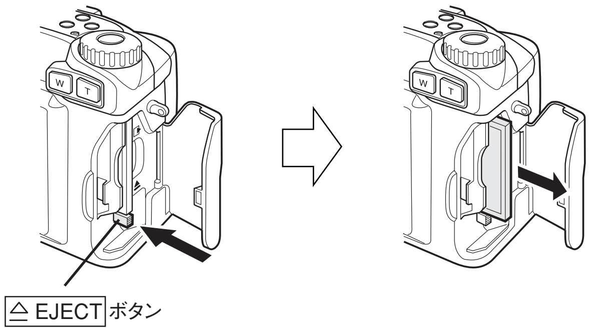
- メモリカードに保存された画像を、直接コンピュータにコピーする場合
- メモリカードスロットを装着したプリンタで印刷する場合

1 カメラの電源がオフになっていることを確認します。

> 注意
> メモリカードのセット・取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。 カメラ本体やメモリカードが破損するおそれがあります。

2 メモリカードカバーを開きます(前ページ 2 参照)。

3 △ EJECT ボタンを押して、メモリカードを取り出します。



4 メモリカードカバーを閉じます。

カメラの基本操作

ここでは、基本的なカメラの使い方について説明しています。

撮る

ここでは簡単に撮影する手順について説明しています。
LCD モニタを見ながら撮影する方法については、14 ページをご覧ください。

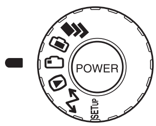
ファインダをのぞいて撮影する

ここでは普通のカメラと同じように、ファインダをのぞいて撮影する手順について説明します。
LCD モニタで撮影するときに比べて、電池が長持ちします。

1 レンズキャップを外します。

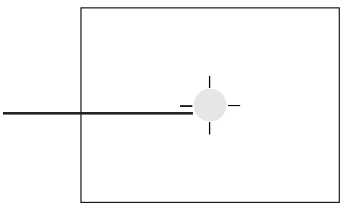
注意
- レンズキャップは、電源がオフのときに取り付け・取り外しを行ってください。
- レンズには指がかからないようにご注意ください。また、レンズを指で押さえるなど無理な力をかけないようにご注意ください。動作不良や故障の原因となります。

2 ダイヤルスイッチを にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。

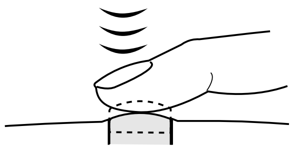


レンズが前に出ます。
撮影ランプが緑色に点灯したら撮影可能です。

3 被写体をフォーカスフレームに合わせます。

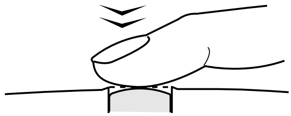


4 シャッタボタンを軽く押して(半押し)、ピントを合わせます。



ピント合わせ中は撮影ランプが緑色に点滅し、ピントが合うと緑色に点灯します。

5 シャッタボタンを止まるところまで押し込み(全押し)、撮影します。

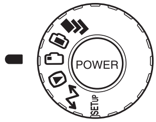


「カシャ」という撮影音で撮影したことがわかります。

撮影音を鳴らさないこともできます（☞84 ページ）。

6 撮影ランプが緑色に点灯したら、次の撮影ができます。

7 撮影が終わったら、POWER ボタンを押して電源をオフにします。



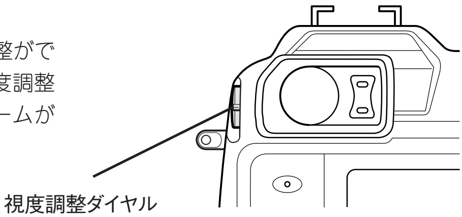
レンズキャップを取り付けてください。

撮影時のメニュー表示について

ファインダ撮影時に MENU ボタンを押すと、LCDモニタにメニューが表示され、撮影の設定ができます（☞54、56 ページ）。
再度 MENU ボタンを押すか、シャッタボタンを軽く押すと、メニューが消えます。

視度調整ダイヤルについて

本カメラではファインダの視度調整ができます。ファインダをのぞき、視度調整ダイヤルを回し、フォーカスフレームが鮮明に見える位置に合わせます。



LCD モニタを見ながら撮影する

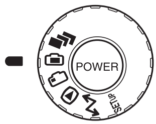
ピントや撮影範囲の確認をしたい場合は、LCDモニタを見ながら撮影します。撮影後、すぐに画像を確認して削除することもできます。

1 レンズキャップを外します。

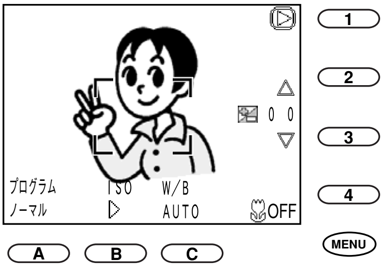
> 注意
> - レンズキャップは、電源がオフのときに取り付け・取り外しを行ってください。
> - レンズには指がかからないようにご注意ください。 また、レンズを指で押さえるなど無理な力をかけないようにご注意ください。動作不良や故障の原因となります。

2 ダイヤルスイッチを[カメラ] にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。

レンズが前に出ます。
カメラがとらえている画像が、LCDモニタに表示されます。

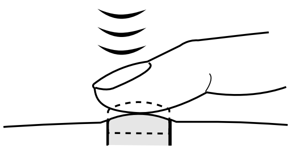


3 被写体をLCD モニタ中央のフォーカスフレームに合わせます。

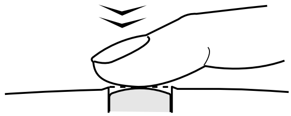


4 シャッタボタンを軽く押して(半押し)、ピントを合わせます。

ピント合わせ中は撮影ランプが緑色に点滅し、ピントが合うと緑色に点灯します。また、LCD モニタ右上に◎が表示されます。



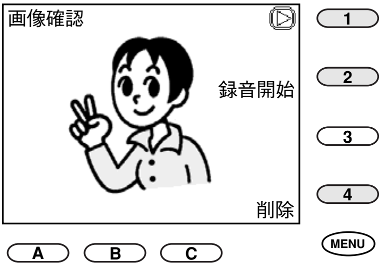
5 シャッタボタンを止まるところまで押し込み(全押し)、撮影します。



「カシャ」という撮影音で撮影したことがわかります。

撮影音を鳴らさないこともできます（☞84 ページ）。

6 撮影後、画像確認画面が約 2 秒間表示されます。



表示中は以下の操作ができます。

1 ボタン　簡易再生モード
（☞ 次ページ）

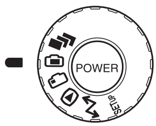
2 ボタン　録音を開始します
（☞43 ページ）

4 ボタン　画像を削除します

画像確認画面を表示しないこともできます（☞44 ページ）。
シャッタボタンを軽く押すと画像確認画面が消え、次の撮影が可能になります。

7 カメラがとらえている画像が LCD モニタに表示されたら、次の撮影ができます。

8 撮影が終わったら、POWER ボタンを押して電源をオフにします。



レンズキャップを取り付けてください。

簡易再生モード

LCDモニタ撮影時、またはLCDモニタで撮影した後の画像確認画面で▷ボタンを押すと、簡易再生画面が表示されます。撮影した画像を確認することや画像を削除することなどができます。

簡易再生画面

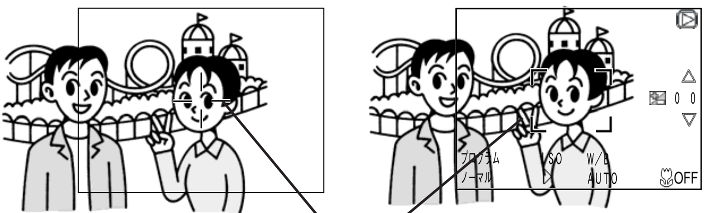


1 ボタン	音声を再生します（中止するには再度押します） 音声が録音されていない場合は、グレーアウトされます。
2 ボタン	1コマ後の画像を表示します
3 ボタン	1コマ前の画像を表示します
4 ボタン	表示中の1枚の画像を削除します
A ボタン	通常の撮影に戻ります
B ボタン	複数画像を表示します
C ボタン	画像をロックします

★★★H（TIFF）撮影時は、簡易再生画面は表示されません。

ピントを固定して撮影する（フォーカスロック）

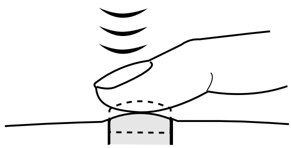
1 ピントを合わせたい被写体が、ファインダ中央になるようにカメラを構えます。



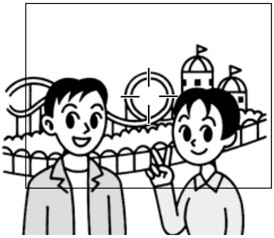
（ファインダ撮影時）　フォーカスフレーム　（LCDモニタ撮影時）

2 シャッタボタンを軽く押して(半押し)、ピントを合わせます。

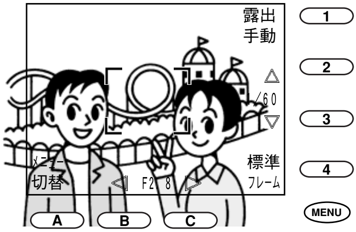
ピント合わせ中は撮影ランプが緑色に点滅し、ピントが合うと緑色に点灯します。



3 シャッタボタンを軽く押したまま、アングルを整えます。



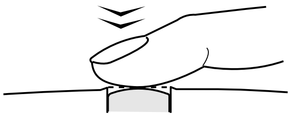
（ファインダ撮影時）



（LCDモニタ撮影時）

4 シャッタボタンを止まるところまで押し込み(全押し)、撮影します。

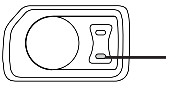
「カシャ」という撮影音で撮影したことがわかります。



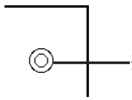
オートフォーカス機構について

本カメラはオートフォーカス機構を搭載しています。シャッタボタンを軽く押した状態(半押し)で、被写体に自動的にピントが固定され（フォーカスロック）、撮影することができます。ピントが固定されたかどうかは、撮影ランプとアイコン(LCDモニタ撮影時)で確認することができます。

ファインダ撮影時



LCD モニタ撮影時



■正しくピント合わせを行うため、被写体から50cm以上離れてください。
被写体からの距離が6cm～50cmの場合は、マクロで撮影してください(☞38ページ)。

■次のような被写体は、オートフォーカスが正常に動作せず、ピントが合わないことがありますのでご注意ください。フォーカス距離を手動で設定することをお勧めします（☞67ページ）。
明暗の差がない被写体・極端に暗い被写体・動きの速い被写体 など

■ピントは、ファインダ(またはLCDモニタ)中央部にある被写体に、自動的に合います。
被写体が中央から外れてしまう場合、ピントを被写体に合わせた後、カメラを動かして撮影します。

ズームを使う（ズームレンズ / デジタルズーム）

本カメラは、3倍光学ズームレンズと2倍デジタルズームを搭載しています。LCDモニタ撮影時はデジタルズームが使用できるので、6倍ズーム相当の撮影が可能です。以下のような場面でお使いいただくと効果的に撮影できます。

望遠（T）

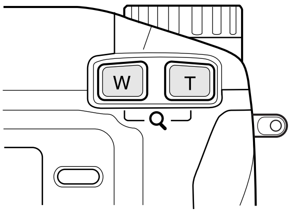
- 遠くに離れている被写体を、大きく撮影する
- 背景をぼかして人物を浮き出させた撮影をする（ポートレート撮影）
- マクロモードで、被写体をさらに大きく撮影する

広角（W）

- 広がりのある風景などを撮影する
- 近くから遠くまで奥行きのある撮影をする

ズームレンズの使い方

ズームボタン（T）を押すと望遠、ズームボタン（W）を押すと広角になります。
（35mm フィルムカメラ換算で 34mm ～ 102mm レンズ相当）
LCDモニタ撮影時はズームボタンを押している間、LCD モニタにズームゲージが表示されます。



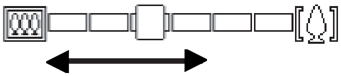
デジタルズームの使い方

ズームボタン（T）を押し続けるとデジタルズームになります。光学ズームに戻るにはズームボタン（W）を押し続けてください。
デジタルズームにすると、LCD モニタに黄色の枠が表示され、数秒間［デジタルズーム］と表示されます。ズームボタンを押している間、LCD モニタにズームゲージが表示されます。
デジタルズームで撮影すると画像が劣化します。デジタルズームにしない設定にすることができます（☞ 次ページ）。

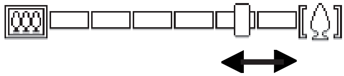
ファインダ撮影時はデジタルズームを使用できません。

ズームゲージについて

LCD モニタ撮影時はズームボタンを押している間、LCD モニタにズームゲージが表示されます。



光学ズーム使用時

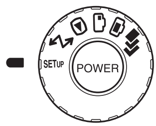


デジタルズーム使用時

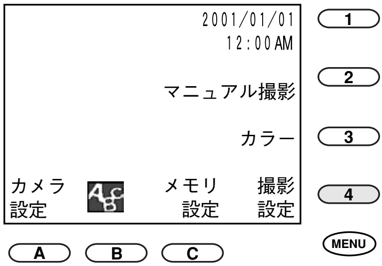
デジタルズームの設定

通常は光学ズームに引き続き、自動でデジタルズームになりますが、デジタルズームにならないように設定することができます。

1 **ダイヤルスイッチを SETUP にし、POWER ボタンを押して、電源をオンにします。**

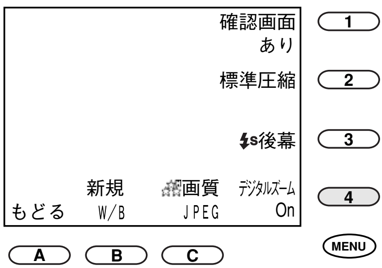


2 **4 ボタンを押します。**



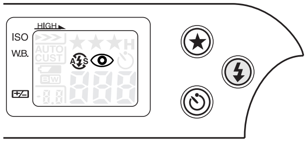
3 **4 ボタンを押し、デジタルズームの設定をします。**

デジタルズーム On・デジタルズーム Off



フラッシュの設定

(ボタン) ボタンでフラッシュの設定を変更することができます。設定は、表示パネルのアイコンで確認します。



A⚡ ：自動発光(出荷時設定)	被写体の明るさによって自動的に発光します。
⚡ ：強制発光	被写体の背景が明るいときや逆光下での撮影時にお使いください。
(発光禁止アイコン) ：発光禁止	フラッシュ禁止の場所での撮影や、夜景や特殊な効果をねらった撮影時にお使いください。 連写撮影、動画撮影、外部フラッシュ使用時は(発光禁止アイコン)に設定されます。
⚡S ：スローシンクロ （フルオート撮影時は使用できません）	夜景をバックにした人物撮影時にお使いください。人物だけでなく背景もきれいに撮影できます(手ブレ防止のため三脚を使うことをお勧めします)。 先幕シンクロか後幕シンクロに設定することができます（☞68ページ）。
(赤目アイコン)：赤目軽減	夜や室内での人物撮影時にお使いください。フラッシュの光が人物の目に反射して目が赤くなるのを防ぎます。

※アイコン点滅時はフラッシュ充電中です。

フラッシュの届く範囲

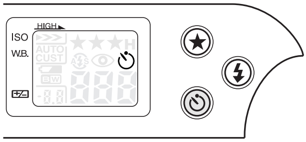
	標準撮影（広角）	標準撮影（望遠）
標準感度（ISO感度100相当）	0.2m - 4.2m	0.2m - 3.4m
中感度（ISO感度200相当）	0.2m - 5.9m	0.2m - 4.8m
高感度（ISO感度400相当）	0.2m - 8.4m	0.2m - 6.7m

セルフタイマ撮影

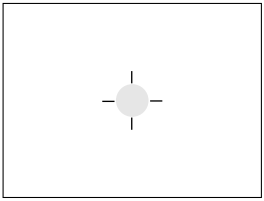
自分の写真を撮る場合や手ブレが心配な場合にお使いください。

1 **ボタンを押します。**

セルフタイマアイコンが表示されます。



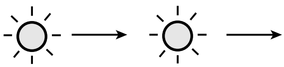
2 **被写体をフォーカスフレームに合わせます。**



（ファインダ撮影時）

3 **シャッタボタンを押し込みます(全押し)。**

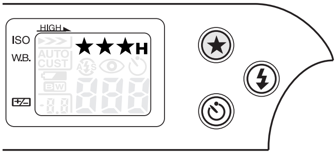
セルフタイマランプと アイコンが点滅し、1秒間隔で操作音が鳴ります。
セルフタイマランプがはじめの8秒間はゆっくり点滅、次に2秒間速く点滅した後、撮影します。
操作音を鳴らさないこともできます(☞84 ページ)。



- シャッタボタンを押した後で撮影を中止するには、 ボタンまたはシャッタボタンを押します。
- 三脚を使用する、カメラを水平で安定した場所に置くなど、カメラを固定して撮影することをお勧めします。

撮影品質

目的に応じて撮影品質を設定してください。



★	標準	640 x 480 ピクセル
★★	精細	1600x1200 ピクセル
★★★	高精細	2048x1536 ピクセル
★★★H	ハイパー※	2544x1904 ピクセル
★★★H	TIFF※	2048x1536 ピクセル (非圧縮)

※工場出荷時はハイパーに設定されています。TIFFに変更するには次ページをご覧ください。

撮影品質の設定について

- 撮影品質の設定により撮影可能枚数の数値が変わります（☞24 ページ）。
- 設定はカメラの電源をオフにしても記憶されます。
- 連写撮影、ステッチ撮影では、★★★H（ハイパー /TIFF）に設定することはできません。
- 動画撮影では、撮影品質を設定することはできません。
- インターバル撮影では、★★★H（TIFF）に設定することはできません。
- 工場出荷時は標準圧縮に設定されています。圧縮率を低くし、画質を良くすることができます（☞次ページ）。ただしファイルサイズが大きくなるため、撮影可能枚数は少なくなります。

ハイパー撮影

★★★H（ハイパー）で撮影した画像は、カメラ内の画像処理※により、2544×1904ピクセル（約484万画素）の高精細な画像になります。色にじみを抑えてきれいな画像にします。大きなサイズの用紙に出力するときなどにお使いください。

※エプソン独自のデジタルカメラ専用画像処理技術Hypict（EPSON Hyper Picture Technology）を用いて出力します。

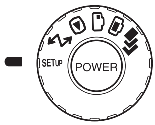
★★★H での撮影は、通常の撮影に比べて、画像処理時間が非常に長くなります。撮影ランプが緑色に点灯したら、次の撮影ができます。

TIFF 撮影

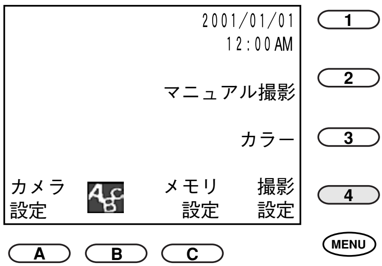
★★★H（TIFF）で撮影した画像は、カメラ内でJPEGに圧縮処理されないTIFF形式の画像になります。
TIFF 形式の画像は撮影の処理や再生に時間がかかります。

圧縮率、ハイパー /TIFF の切り替え

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

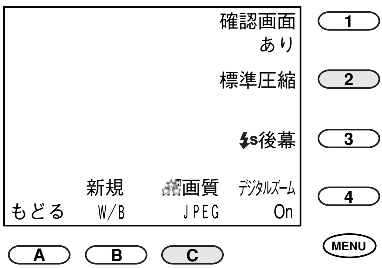


2 4ボタンを押します。

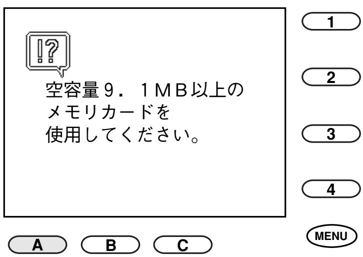


3 Cボタンまたは2ボタンを押して切り替えます。

2ボタン　標準圧縮　ファイルサイズが小さい（出荷時設定）
　　　　　低圧縮　　画質は良いが、ファイルサイズが大きい
Cボタン　★画質 JPEG　　ハイパー
　　　　　★画質 TIFF　　TIFF



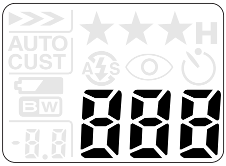
TIFFに設定し、メモリカードにTIFF画像を保存する容量がない場合、右の画面が数秒間表示されます。
TIFF画像は、画像の圧縮を行わないため、1枚の画像サイズが約9MBとなり、同梱のメモリカードでは1枚しか撮影できません。



4 設定が終わったら、Aボタンを押します。

撮影可能枚数

表示パネルに撮影可能枚数の目安が表示されます。撮影時の参考としてお使いください。



撮影品質	撮影可能枚数（標準圧縮 / 低圧縮）(同梱の 16MB メモリカード)
★　標準	約 199 枚 /122 枚
★★　精細	約 56 枚 /29 枚
★★★　高精細	約 29 枚 /15 枚
★★★ H　ハイパー	約 12 枚
★★★ H　TIFF	1 枚

撮影可能枚数について

- 数値は当社測定条件によります。
- 表示される数字は撮影可能枚数の目安を表すもので、撮影を保証する枚数ではありません。
- 撮影品質の設定によって表示される枚数が変わります。
- 撮影毎に数字が減るとは限りません。これは、被写体によって画像ファイルの容量が異なり、撮影毎に残りの撮影可能枚数を計算し、表示するためです。
- 数字が 0 になると、撮影ランプが赤色に点滅し、撮影することができません。
- モノクロ撮影時の画像ファイル容量は、カラーで撮影したときのファイル容量と同じです。
- 音声メモを録音すると、撮影できる枚数が減ります。
- 動画撮影を行うと、撮影できる本数が減ります。動画の撮影可能本数については48ページをご覧ください。
- 999 枚を超える場合は、下3桁の数字を表示します。

見る

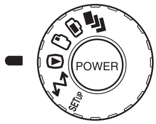
再生モードでは、以下のように画像をLCDモニタで再生することができます。

- 1コマずつ再生する　☞本ページ
- 分割表示する（4コマ/9コマ）　☞本ページ
- 拡大表示する　☞26ページ
- スライドショー　☞27ページ
- 動画を再生する　☞49ページ

1コマずつ再生する

1 **ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。**

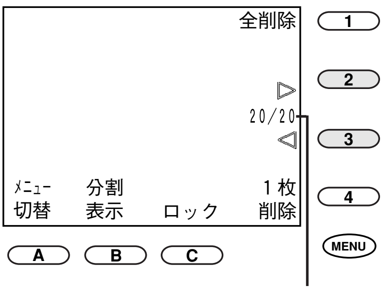
カメラは再生モードになり、撮影した画像を再生します。



2 **2ボタンで1コマ後の画像を、3ボタンで1コマ前の画像を再生します。**

画像情報アイコンが画面左上に表示されます。

☆：標準、☆☆：精細、☆☆☆：高精細、
☆☆☆H：ハイパー/TIFF☞22ページ
🔒：画像ロック☞31ページ
🎙：音声メモ☞43ページ



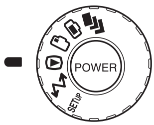
20コマ撮影した画像中の20コマ目であることを表します（数字は例です）

分割表示する（4コマ/9コマ）

1画面で4コマまたは9コマを同時に表示します。

1 **ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。**

カメラは再生モードになり、撮影した画像を再生します。

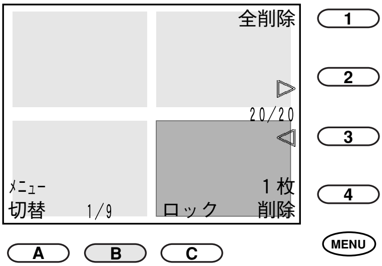


2 B ボタンを押して表示を切り替えます。

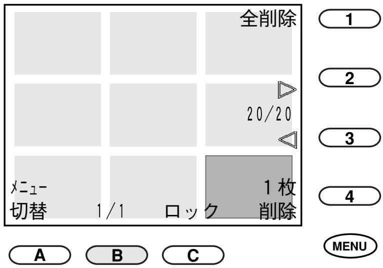
4コマ（1/9）· 9コマ（1/1）· 全画面（分割表示）

2 ボタンでカーソルを1コマ後の画像に移動します。
3 ボタンでカーソルを1コマ前の画像に移動します。

4コマ



9コマ

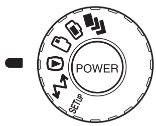


拡大表示する

0.1刻みで3倍まで拡大表示します。

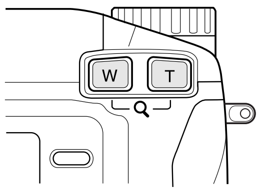
1 ダイヤルスイッチを ▶ にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。

カメラは再生モードになり、撮影した画像を再生します。

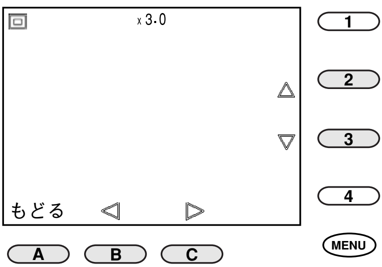


2 ズームボタンを押します。

T ボタンで拡大、W ボタンで縮小します。



画面上の[x3.0]の数字は3倍に拡大していることを示します。

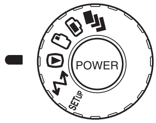


2 3 ボタン 上下方向に移動します
A ボタン　1 の画面に戻ります
B C ボタン 左右方向に移動します

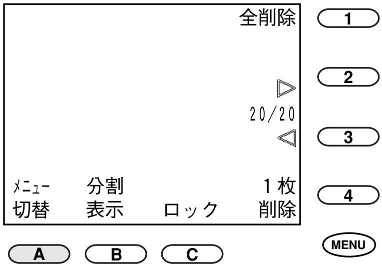
スライドショー

画像を自動で連続再生します。
選択した画像だけ表示することや、画像を回転して表示することもできます。

1 **ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。**



2 **Aボタンを押します。**

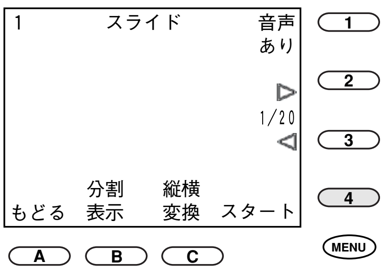


3 **Bボタンを押します。**



4 **4 ボタンを押してスライドショーをスタートします。**

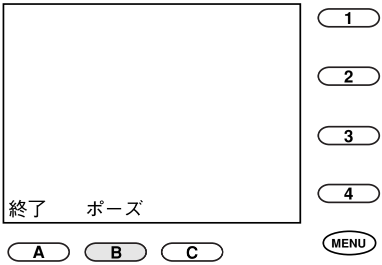
1ボタン	音声メモを再生するか選択します
2 3ボタン	画像を選択します
4ボタン	スライドショーをスタートします
Aボタン	3の画面に戻ります
Bボタン	分割表示・1/9・1/1
Cボタン	画像を90度回転します



見る

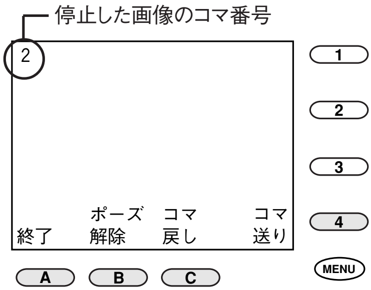
5 スライドショー実行中、一時停止する場合は[B]ボタンを押します。

[A]ボタン　スライドショーを終了します
[B]ボタン　一時停止します

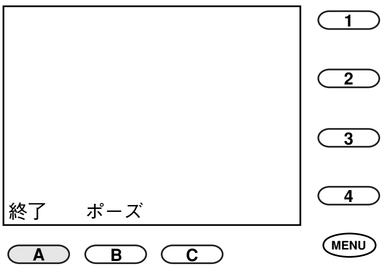


一時停止中の画面

[4]ボタン　次の画像に進みます
[A]ボタン　スライドショーを終了します
[B]ボタン　スライドショーを再開します
[C]ボタン　前の画像に戻ります



6 スライドショーを終了するには、[A]ボタンを押します。



見る

消す

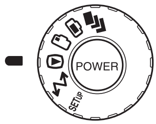
必要のない画像を削除することができます。削除するには、以下の方法があります。

- 1コマずつ削除する　☞本ページ
- すべての画像を削除する　☞次ページ

1コマずつ削除する

1コマずつ削除することができます。

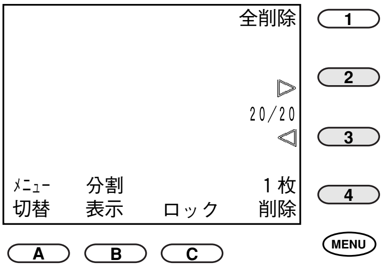
1 **ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。**



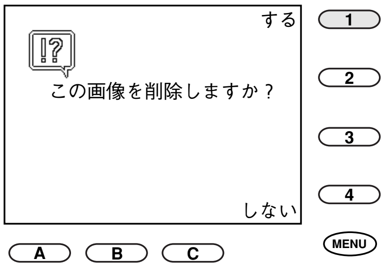
2 **削除する画像を2 3ボタンで選択し、4ボタンを押します。**

分割表示（4コマ/9コマ）するにはBボタンを押します。

ロックされている場合は、[1枚削除]がグレーアウトされ削除できません。ロックを解除してから削除してください。



3 **右の画面が表示されるので、削除を実行するには1ボタンを押します。**

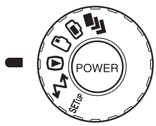


4 **削除が完了すると 2 の画面に戻ります。**

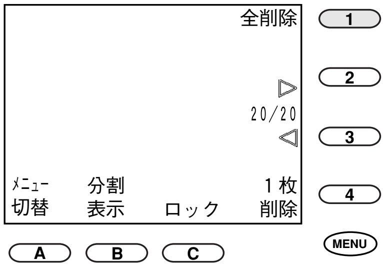
すべての画像を削除する

撮影した画像をまとめて削除することができます。

1 ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

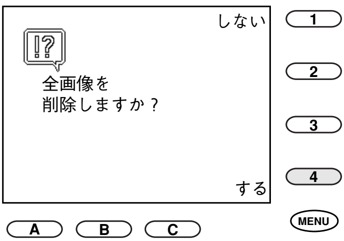


2 1ボタンを押して全削除を実行します。



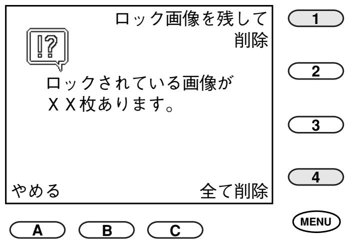
3 以下のいずれかの画面が表示されます。

4ボタンを押して全削除を実行します。



削除が完了すると、「画像がありません」と表示されます。

ロックされていないすべての画像を削除するには1ボタン、ロックされた画像も削除するには4ボタンを押します。



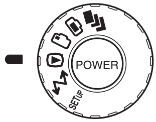
削除が完了すると、1ボタンを押した場合は **2** の画面に戻り、4ボタンを押した場合は「画像がありません」と表示されます。

消す

ロックする

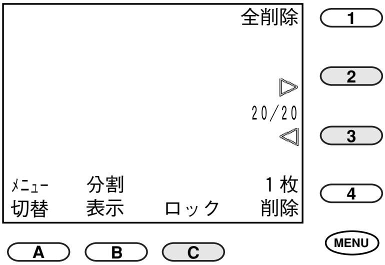
撮影した画像を誤って消さないために、画像をロック(削除禁止に設定)することができます。

1 **ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。**



2 **2 3ボタンでロックしたい画像を表示させ、Cボタンを押してロックします。**

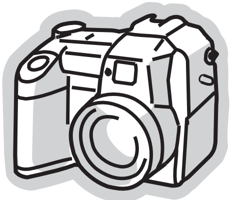
[ロック]が[ロック解除]に変わります。ロックされた画像には、LCD モニタ左上に🔒アイコンが表示されます。



ロックを解除するには **2** の画面でCボタンを押してロックを解除します([ロック解除]が[ロック]に変わります)。

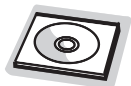
撮影した画像を活用する

撮　影

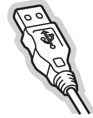


オプション「パソコン接続キット」

■ソフトウエアのインストール

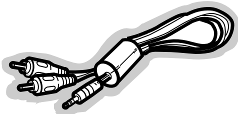


■ケーブルで接続

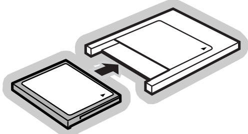


☞オプションの「パソコン接続キット」を使います。詳しい手順は「パソコン接続キット」同梱の『スタートアップガイド』をご覧ください。

AVケーブルで接続

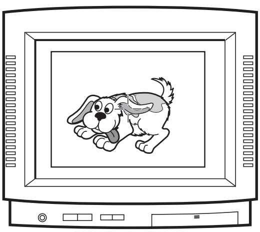


メモリカードをPCカードアダプタにセット



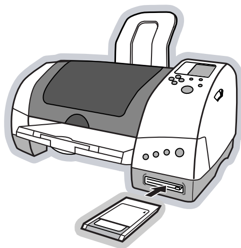
テレビの大画面で再生

スライドショーや動画を再生



メモリカード

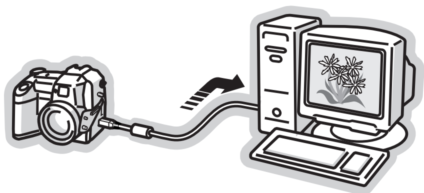
EPSON PM-790PT



コンピュータなしで画像を簡単に加工して印刷!!

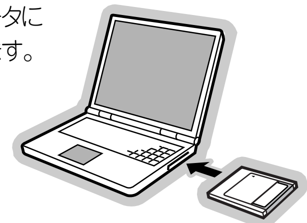
を使ってコンピュータに転送

■画像を転送



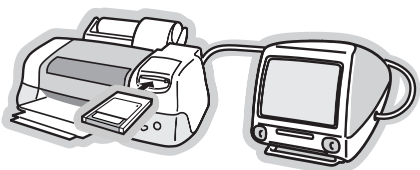
メモリカードを使って コンピュータにコピー

メモリカードスロットにセットして、
コンピュータに
コピーします。



を使って印刷

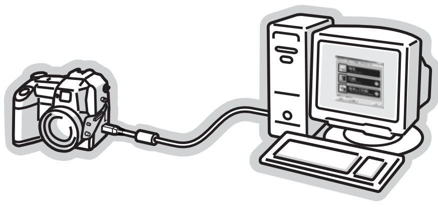
EPSON PM-820DC



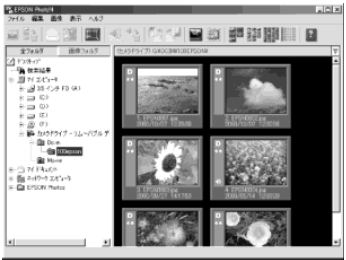
コンピュータと接続し、簡単に画像を加工して印刷！！

オプション「パソコン接続キット」を活用しよう！！

■USBケーブルを接続するだけ、簡単起動！



■「EPSON Photo!4」を使って画像を管理！



■「EPSON PhotoQuicker」を使って簡単印刷！

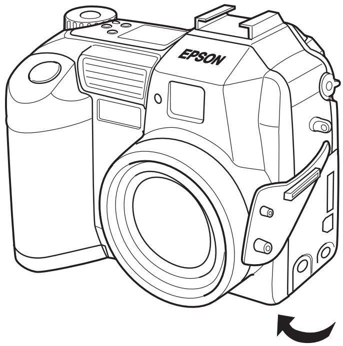


テレビに接続する

ビデオ出力端子を備えているので、テレビなどの機器に接続することができます。LCDモニタに映る画像が、そのままテレビに表示されます。

カメラのビデオ信号方式を設定することができます。工場出荷時は[NTSC]に設定されています（日本はNTSC方式）。設定を変更するには、80ページをご覧ください。

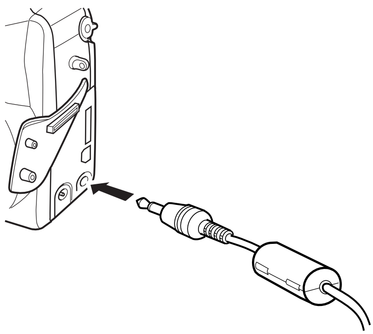
1 電源がオフになっていることを確認して、コネクタカバーを開けます。



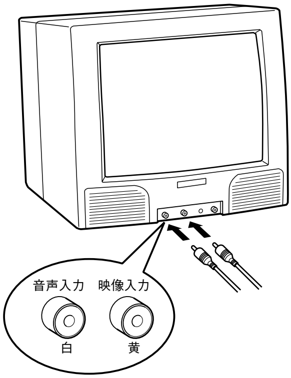
注意

コネクタカバーは強く引っ張らないでください。 破損するおそれがあります。

2 AVケーブルをカメラ側に接続します。



3 テレビの電源がオフになっていることを確認して、ケーブルのもう一方をテレビに接続します。



お使いのテレビによって接続する端子が異なりますが、通常は以下の通り接続します。

AV ケーブル側のプラグの色	テレビ側の接続端子
黄色（映像）	VIDEO IN ビデオ入力 映像入力など
白色（音声）	AUDIO IN 音声入力など

テレビの音声がステレオの場合は、白色のプラグをモノラル側（左またはLEFT）の音声入力端子に接続してください。

詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

4 テレビの電源をオンにし、テレビの［テレビ/ビデオ切替］などで、カメラが接続されている端子からの入力画面を表示する画面にします。

詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

5 カメラのダイヤルスイッチを ▶ にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。

カメラのLCD モニタに表示される画像が、そのままテレビに表示されます。
カメラのLCD モニタには画像が表示されません(AC アダプタ接続時にのみ、LCD モニタに画像が表示されます)。

再生画面の操作は、テレビの表示を確認しながら行います。

応用的な撮影

ここでは、本カメラのいろいろな機能を使って、応用的な撮影をするための手順を説明しています。

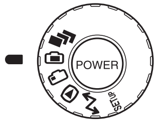
マクロ撮影

被写体に近づいて撮影することができます。6cm〜50cm※の距離で撮影することができます。

※ズームレンズの広角(W)側のみ6cm〜50cmで撮影可能です。広角(W)側以外では20cm〜50cmで撮影できます。

ファインダ撮影時にマクロ撮影はできません。

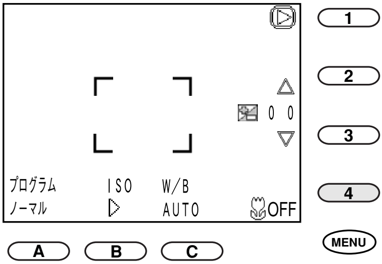
1 ダイヤルスイッチを📷にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 4ボタンを押して🌷ONにします。

🌷ON・🌷OFF

🌷ONにすると、LCDモニタに緑色の枠が表示され、数秒間〔マクロ〕と表示されます。



(画面はプログラム撮影時)

3 撮影します(☞14ページ)。

マクロ撮影

連写撮影

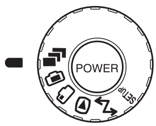
シャッタボタンを押し続けることで連続撮影が可能です。

★★★　　1 秒間に約 1 コマ撮影可能
★★　　1 秒間に約 1 コマ撮影可能
★　　1 秒間に約 1.5 コマ撮影可能

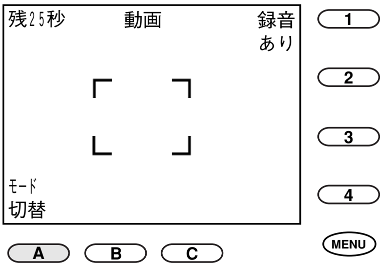
撮影可能枚数は、撮影品質の圧縮率により異なります。

撮影品質	標準圧縮	低圧縮
★★★	7 コマ以上撮影可能	3 コマ以上撮影可能
★★	13 コマ以上撮影可能	7 コマ以上撮影可能
★	47 コマ以上撮影可能	29 コマ以上撮影可能

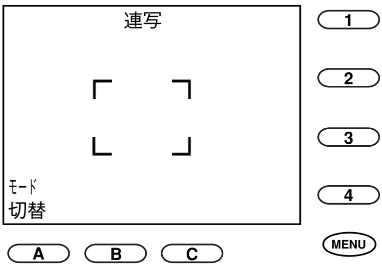
1 ダイヤルスイッチを連写マークにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 Aボタンを押して連写画面を表示させます。



3 シャッタボタンを押している間、連続して撮影されます。



- ★★★H（ハイパー/TIFF）での撮影はできません。
- フラッシュは発光しません（発光禁止に設定されます）。

インターバル撮影

設定した間隔で自動的に撮影することができます。
撮影間隔を設定してからシャッタボタンを押して、1枚目を撮影した後、ＬＣＤモニタが消え、設定した時間が経過すると自動的に撮影を行います。

設定可能な最小間隔は、撮影条件によって異なります。以下の表をご覧ください。

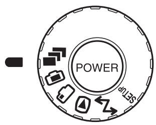
フルオート・プログラム撮影時

撮影条件	最小間隔
録音あり	20 秒
★★★H（ハイパー）	20 秒
（発光禁止）	5 秒
上記以外	10 秒

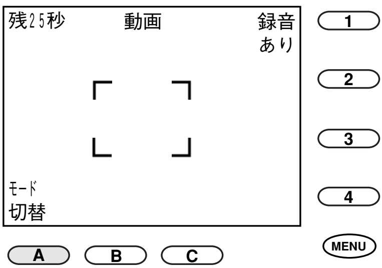
マニュアル撮影時

撮影条件	シャッタ速度	最小間隔
録音あり	8秒	30秒
	4〜1/1000秒	20秒
録音なし	8秒	20秒
★★★H（ハイパー）	8、4、2、1秒	30秒
	1/2〜1/1000秒	20秒
（発光禁止）		5 秒
上記以外		10秒

1 ダイヤルスイッチを にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。



2 A ボタンを2回押してインターバル撮影画面を表示させます。

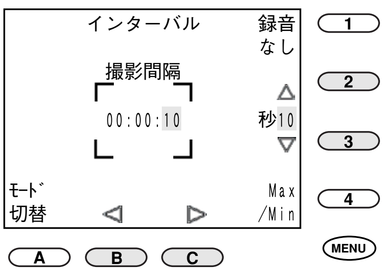


3 B C ボタンでカーソルを移動させ、2 3 ボタンで撮影する間隔を設定します。

1 ボタン　録音あり・なしを設定します

4 ボタン　最大間隔または最小間隔に設定します

B C ボタン　カーソルの左右移動（時:分:秒）



4 シャッタボタンを押して１枚目の撮影をします。

撮影後、LCD モニタの表示が消え、表示パネルに[Int]と表示されます。
設定した時間が経過すると自動的に次の撮影を行います。

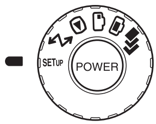
5 撮影を終了するには、表示パネルに[Int]と表示されているときに POWER ボタンを押すか、ダイヤルスイッチを以外に合わせます。

カラー / モノクロ撮影

白黒の画像を楽しみたいときや、ホワイトボードの議事録や文書など文字の撮影にモノクロ撮影をお使いください。

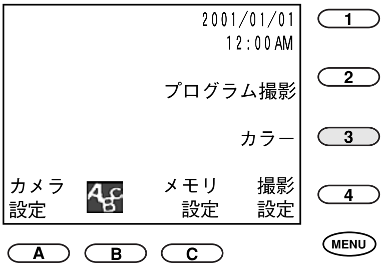
カラー / モノクロ撮影の切り替え

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 3ボタンを押して設定します。

カラー(出荷時設定)
　フルカラーで撮影します
　(24 ビットフルカラー 1677 万色)
モノクロ
　モノクロで撮影します



- モノクロに設定すると、撮影時の表示パネルに BW アイコンが表示されます。
- モノクロで撮影した画像のファイル容量は、カラーで撮影したファイル容量と同じです。

3 ダイヤルスイッチを▭または▭にして撮影します。

LCD モニタ撮影時には、表示画像がモノクロになり、LCD モニタに青色の枠が表示され、数秒間〔モノクロ〕と表示されます。

音声メモ

本カメラは音声マイクを内蔵しています。撮影メモとしてお使いください。
撮影直後に録音する方法と、画像再生時に録音する方法があります。

> 音声メモが録音されている画像を再生すると、音声メモが再生されます。カメラで再生する場合、音量を調整することができます（☞84 ページ）。

撮影直後に録音する

LCD モニタで撮影後、画像確認画面で録音することができます。
ただし以下の場合、録音できません。

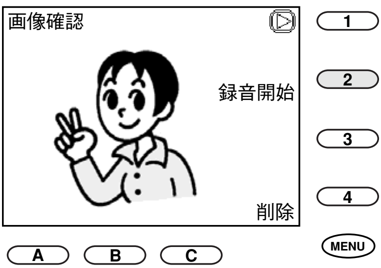
- 表示パネルに アイコンが表示されている時
- 連写撮影時
- ステッチ撮影時

1 **ダイヤルスイッチを にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。**

ファインダ撮影時は録音できません。

2 **撮影します（☞14ページ）。**

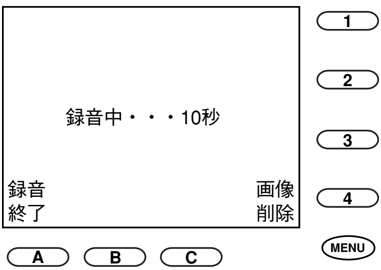
3 **撮影後の画像確認画面で 2 ボタンを押して、録音を開始します。**



4 **残り録音時間が表示されます。**

録音終了後、画像と音声がメモリカードに転送され、次の撮影が可能になります。

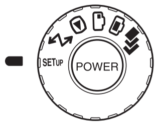
A ボタンを押すと録音を終了します。
4 ボタンを押すと、録音中の音声と画像を削除します。



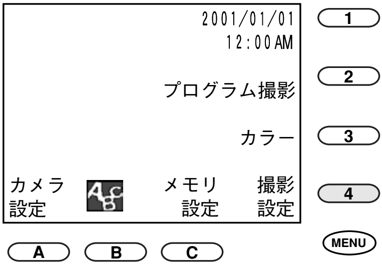
画像確認画面の設定

画像確認画面では、LCDモニタで撮影後、撮影した画像を確認することや音声を録音することができます。画像確認画面を表示させないこともできます。

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

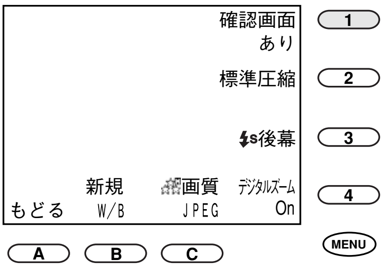


2 4ボタンを押します。



3 1ボタンを押して設定します。

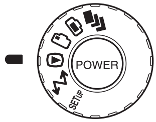
確認画面あり・確認画面なし



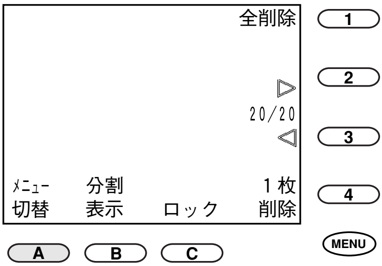
画像再生時に録音する

画像再生時に、音声を録音することができます。

1 ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 Aボタンを押します。



3 Cボタンを押します。

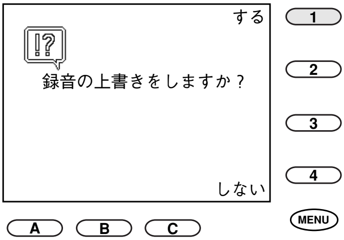
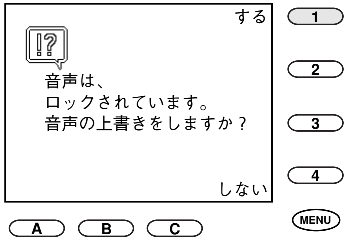


4 録音したい画像を2 3ボタンで選択します。

すでに録音されている画像にはLCDモニタ左上に🎙アイコンが表示されます。

5 1ボタンを押して録音を開始します。

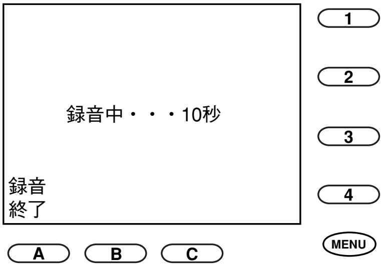


すでに録音されている場合	画像がロックされている場合
	
1ボタンを押すと録音を開始します。	1ボタンを押すと録音を開始します。

6 **残り録音時間が表示されます。**

録音終了後、音声がメモリカードに転送されたら、**5** の画面に戻ります。

Aボタンを押すと録音を終了します。



音声を再生する

1 **前ページ 1 ～ 4 の手順で、音声を再生する画像を選択します。**

録音されている画像にはLCDモニタ左上に アイコンが表示されます。

2 **4ボタンを押して音声を再生します。**

音声を再生している間、4ボタンを押すと再生を中止します。

音声が録音されていない場合は、[音声再生]がグレーアウトされ再生できません。

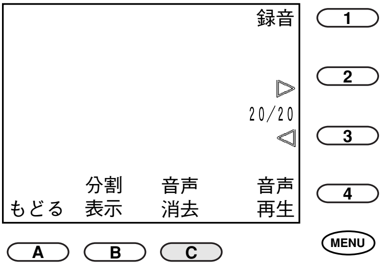


音声を消去する

1 45ページ 1 ～ 4 の手順で、音声を消去する画像を選択します。

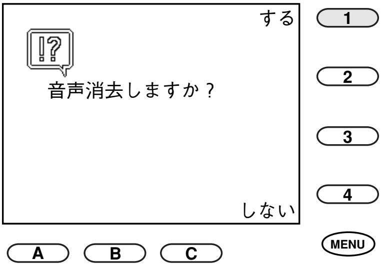
2 [C]ボタンを押します。

音声が録音されていない場合は、[音声消去]がグレーアウトされ消去できません。

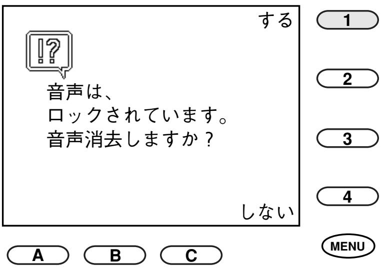


3 [1]ボタンを押して音声を消去します。

消去が終了すると、2 の画面に戻ります。



画像がロックされている場合は、右の画面が表示されます。音声のみ消去する場合は、[1] ボタンを押します。



動画撮影

ここでは、動画の撮影、再生、削除の手順について説明しています。

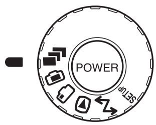
動画ファイルについて

動画ファイルはファイル容量が大きくなります。表示パネルで残り撮影可能本数を確かめてから、撮影してください。

撮影可能本数	同梱の16MBのメモリカードに1本（1本は35秒で音声なし）
ファイルサイズ	35 秒間撮影・音声なし　約 8MB 25 秒間撮影・音声なし　約 5.5MB
画像サイズ	320 × 240 ピクセル

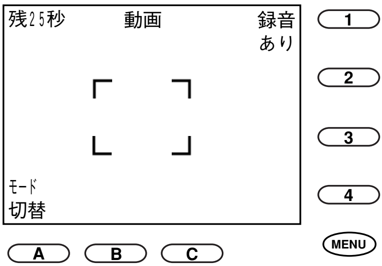
動画を撮影する

1 **ダイヤルスイッチを にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。**



2 **動画撮影画面が表示されます。**

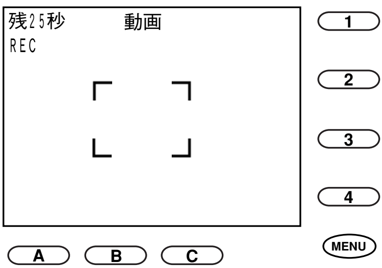
表示パネルには、残り撮影可能本数を表示します（1本は35秒で音声なしとしています。表示パネルに[1]と表示された場合でも35秒間撮影できないことがあります）。



音声を付けずに撮影するには、1 ボタンを押して［録音なし］に設定してください。

3 **シャッタボタンを押して動画撮影を開始します。**

撮影中は表示パネルに残り撮影可能秒数、LCD モニタの左上に残り撮影可能秒数と［REC］を表示します。



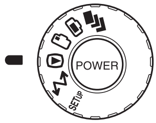
4 **撮影を終了するには、シャッタボタンをもう一度押します。**

撮影終了後、動画がメモリカードに転送されます。転送中に 4 ボタンを押すと転送中の動画を削除することができます。転送が終了したら次の撮影が可能です。

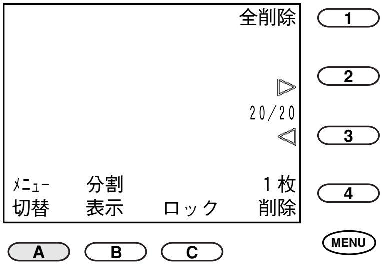
動画を再生する

撮影した動画をLCDモニタで見ることができます。

1 ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 Aボタンを押します。



3 4ボタンを押します。

動画再生画面が表示されます。

動画が撮影されていない場合は、[動画]がグレーアウトされ再生できません。



4 1ボタンを押して動画を再生します。

動画が再生されるまでしばらく時間がかかります。

1ボタン　表示中の動画を再生します

2ボタン　1本後の動画を表示します

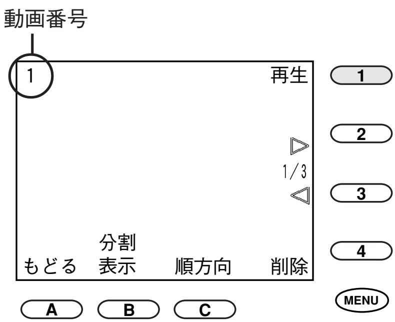
3ボタン　1本前の動画を表示します

4ボタン　表示中の動画を削除します

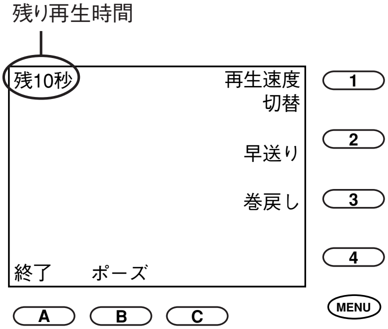
Aボタン　**3** の画面に戻ります

Bボタン　分割表示します

Cボタン　再生方向を切り替えます



再生中は以下の画面が表示されます。



1ボタン　スロー再生します（スロー再生中に押すと、通常再生に戻ります）

2ボタン　押し続けている間、早送りします

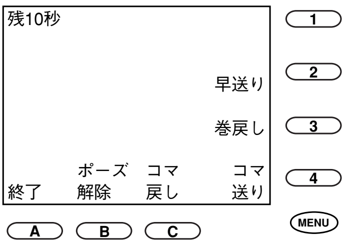
3ボタン　押し続けている間、巻戻しします

Aボタン　再生を終了し、4 の画面に戻ります

Bボタン　再生を一時停止します

一時停止中の画面について

一時停止中は以下の画面が表示されます。



2ボタン　押し続けている間、早送りします

3ボタン　押し続けている間、巻戻しします

4ボタン　1コマずつコマを送ります

Aボタン　再生を終了し、4 の画面に戻ります

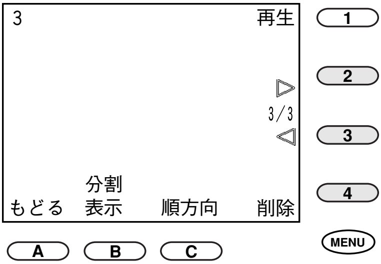
Bボタン　再生を再開します

Cボタン　1コマずつコマを戻します

動画を削除する

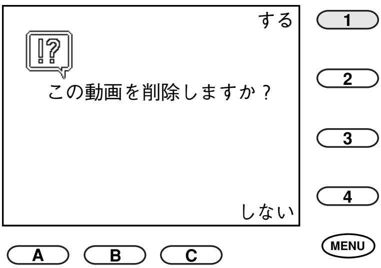
1 49ページの **1**～**3** の手順で、動画再生画面を表示します。

2 [2] [3] ボタンで削除する動画を表示し、[4] ボタンを押します。



3 [1] ボタンを押して削除を実行します。

削除が完了すると、**2** の画面に戻ります。



撮影モード変更

本カメラは以下の３つの撮影モードを備えています。

■フルオート撮影
初めてお使いになる方や、設定を変更する必要がないときに、最適な撮影モードです。
■プログラム撮影(工場出荷時設定)
スポーツ、ポートレート、風景といった、被写体に応じた撮影が簡単にできます。
■マニュアル撮影
シャッタ速度や絞りなど自由自在に設定できるので、思い通りのさまざまな撮影ができます。

設定項目一覧

各モード毎、またはファインダ撮影とLCDモニタ撮影で変更可能な、設定項目の一覧です。お使いになる機能によって、撮影モードを変更してお使いください。
(○：設定可　×：設定不可)

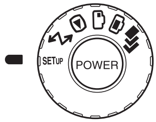
	フルオート撮影		プログラム撮影		マニュアル撮影		参照ページ
	ファインダ撮影	LCD撮影	ファインダ撮影	LCD撮影	ファインダ撮影	LCD撮影	
フラッシュ	○※1	○※1	○※2	○※2	○	○	20
セルフタイマ	○	○	○	○	○	○	21
撮影品質	○	○	○	○	○	○	22
モノクロ	○	○	○	○	○	○	42
デジタルズーム	×	○	×	○	×	○	18
マクロ	×	○	×	○	×	○	38
露出補正	×	×	○※3	○※3	○※3	○※3	60
撮影感度	×	×	○	○	○	○	59
ホワイトバランス	×	×	○	○	○	○	57
シャッタ速度	×	×	○※4	○※4	×	○※5	61
絞り	×	×	○※4	○※4	○※6	○※6	61
測光方式	×	×	○※4	○※4	○	○	63
フォーカス距離	×	×	×	×	○	○	67

※１スローシンクロ、外部フラッシュは設定できません。
※２外部フラッシュは設定できません。
※３プログラムとマニュアルでは、設定できる値の間隔が異なります。
※４シャッタ速度、絞り、測光方式を組み合わせた、被写体別のプログラムを選択できます（☞55ページ）。
※５シャッタ速度のみ設定し、適正露出になるように設定した値に最も近いシャッタ速度、絞り、感度を自動的に設定する、シャッタ速度優先モードがあります（☞61ページ）。
※６絞り値のみ設定し、適正露出になるようにカメラがシャッタ速度を自動的に設定する絞り優先モードがあります（☞61ページ）。

撮影モードを変更する

フルオート撮影・プログラム撮影・マニュアル撮影の切り替え手順を説明します。

1 **ダイヤルスイッチを SETUP にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。**



2 **2 ボタンを押して撮影モードを変更します。**

プログラム撮影・マニュアル撮影・フルオート撮影

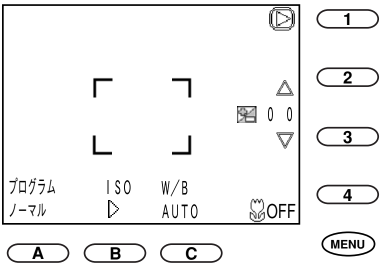
カメラの電源をオフにしても撮影モードは記憶されます。



3 **ダイヤルスイッチを または にして設定を変更します。**

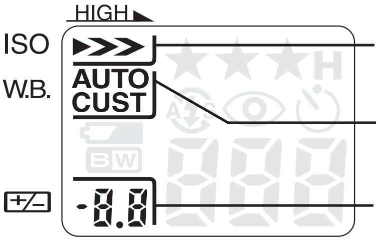
ファインダ撮影時（ ）は、MENU ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

フルオート撮影 ☞ 次ページ上
プログラム撮影 ☞ 次ページ下
マニュアル撮影 ☞56 ページ



（画面はプログラム撮影時）

表示パネルで確認できる設定



撮影感度
▶：標準感度、▶▶：中感度、▶▶▶：高感度

ホワイトバランス
AUTO：自動、CUST：カスタム設定、（なにも表示しない）：固定

露出補正値
-2.0 ～ 2.0

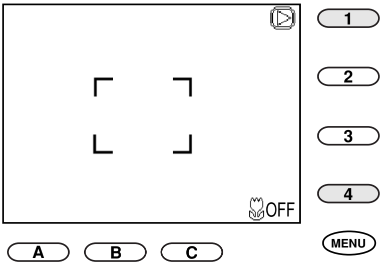
各撮影モードでの設定については以下のページをご覧ください。

フルオート撮影 ☞ 次ページ上
プログラム撮影 ☞ 次ページ下
マニュアル撮影 ☞56 ページ

撮影モード変更

フルオート撮影

初めてお使いになる方や、設定を変更する必要がないときに、最適な撮影モードです。

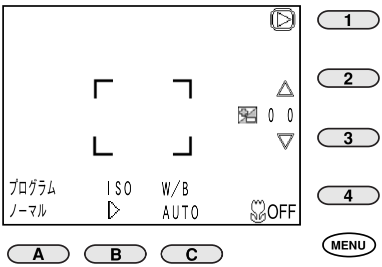


1ボタン　簡易再生モード
（LCD モニタ撮影時のみ）
☞16 ページ

4ボタン　ON・OFF
（LCD モニタ撮影時のみ）
☞38 ページ

プログラム撮影（スポーツ / ポートレート / 風景）

プログラム撮影では、スポーツ、ポートレート、風景といった被写体に応じた撮影が簡単にできます。



1ボタン　簡易再生モード
（LCD モニタ撮影時のみ）
☞16 ページ

2 3ボタン　露出補正　☞60 ページ

4ボタン　ON・OFF
（LCD モニタ撮影時のみ）
☞38 ページ

Aボタン　プログラムノーマル・
プログラムスポーツ・
プログラムポートレート・
プログラム風景
☞ 次ページ

Bボタン　撮影感度 ☞59 ページ

Cボタン　ホワイトバランス
☞57 ページ

各撮影モード

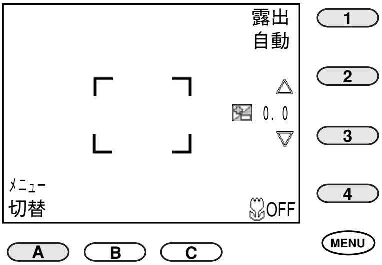
設定	説明	設定内容の詳細
プログラム ノーマル	通常の撮影を行います	多分割測光※1
プログラム スポーツ	動きの速い被写体を撮影するときに最適です	・シャッタ速度が高速になるよう設定します ・被写体の明るさにより中感度または高感度に設定します ・多分割測光※1
プログラム ポートレート	ポートレート(人物撮影)に最適です	・絞り開放優先 ・スポット測光※2 ・輪郭をソフトにします
プログラム 風景	風景の撮影に最適です	・絞り込み優先 ・多分割測光※1 ・輪郭をシャープにします

※1　多分割測光
画面全体を256分割して測光し、適正露出を決めます。一般的な撮影に適しています。

※2　スポット測光
ファインダ(またはLCDモニタ)の中央部の狭い範囲を測光し、適正露出を決めます。逆光下の被写体に正しく露出を合わせる時などに効果的です。

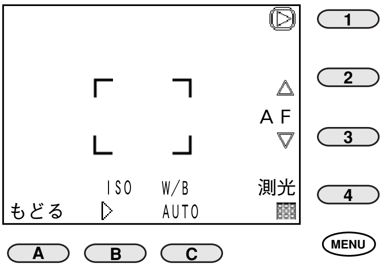
マニュアル撮影

シャッタ速度、絞り、測光方式など、思い通りの設定で撮影することができます。



- 1 ボタン　露出自動･絞り優先･シャッタ優先・露出手動 ☞61 ページ
- 2 3 ボタン　露出補正　☞60 ページ
- 4 ボタン　ON・OFF（LCD モニタ撮影時のみ）☞38 ページ
- A ボタン　詳細設定画面 ☞本ページ下

詳細設定画面



- 1 ボタン　簡易再生モード（LCD モニタ撮影時のみ）☞16 ページ
- 2 3 ボタン　フォーカス距離 ☞67 ページ
- 4 ボタン　測光方式 ☞63 ページ
- A ボタン　マニュアル撮影画面に戻る ☞ 本ページ上
- B ボタン　撮影感度 ☞59 ページ
- C ボタン　ホワイトバランス ☞ 次ページ

ホワイトバランス

本カメラは、どのような撮影状態においても被写体の持つ色で撮影するため、ホワイトバランスを自動的に調節します。しかし、光の雰囲気を生かした撮影をする場合には、ホワイトバランスを[固定]に設定することで、屋外の自然な太陽光下の撮影状態に固定され、効果的に撮影できます。また、カスタム設定を行うことで厳密にホワイトバランスを調整することや、セピア調の画像を撮影することもできます。

AUTO	ホワイトバランスが最適になるようにカメラ側で自動的に調整
固定	太陽光下の撮影状態に固定
CUSTOM	カスタム設定に固定(カスタム設定を行っていない場合は表示されません。次ページの手順で設定します)

設定は、表示パネルで確認することもできます (☞53ページ)。また、ファインダ撮影時も設定可能です。

次のような場合に［固定］に設定すると、効果的に撮影できます。
- 夕暮れ時の薄赤い空の色を撮影したい場合
- 白熱電灯など照明の雰囲気を撮影したい場合

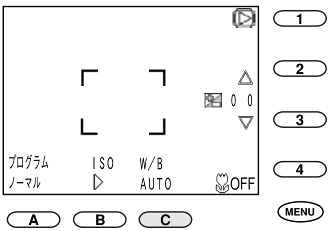
ホワイトバランスを設定する

1 ダイヤルスイッチを または にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。

ファインダ撮影時（ ）は MENU ボタンを押します。

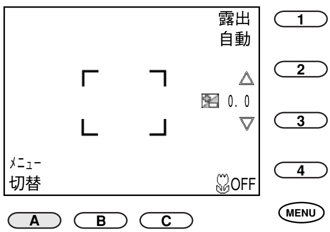
プログラム撮影時

C ボタンを押して設定を変更します。

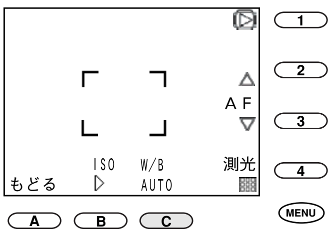


マニュアル撮影時

① A ボタンを押します。



② C ボタンを押して設定を変更します。



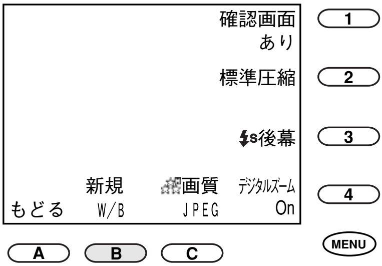
カスタム設定

特定の光源下のホワイトバランスをしっかりとって撮影したい場合には､色のない白い用紙、またはグレーの用紙を撮影して、ホワイトバランスを設定します。
また、青い用紙を撮影することでセピア調の画像を撮影することができます。

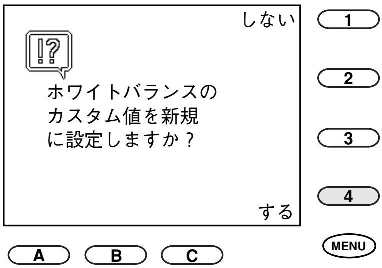
1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、4ボタンを押します。



2 Bボタンを押します。



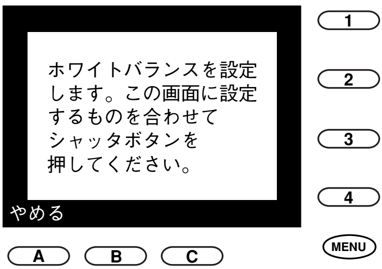
3 4ボタンを押します。



4 設定する用紙がLCDモニタ全面に表示されるようにセットし、シャッタボタンを押し込みます。

ホワイトバランスが記憶され、2の画面に戻ります。

ホワイトバランスのカスタム設定は、カメラの電源をオフにしても記憶されます。



5 前ページの手順で[CUSTOM]に設定して撮影します。

撮影感度

プログラム撮影・マニュアル撮影時に、撮影感度を変更することができます。感度を上げると画像は荒くなりますが､以下のような場合に効果的に撮影することができます。

- 通常の撮影では暗くなってしまう場合(フラッシュの禁止されている場所など)
- 動きのある被写体を撮影する場合
- マクロやズームの望遠側での撮影時に、手ブレが心配な場合
- フラッシュを使ってより遠くの被写体を撮影したい場合

設定

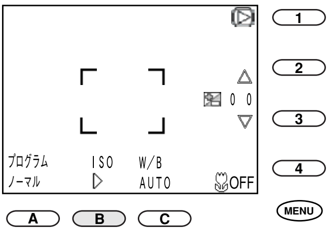
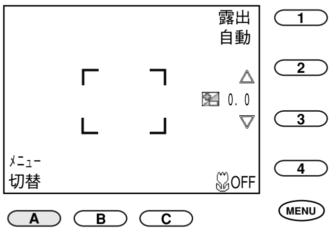
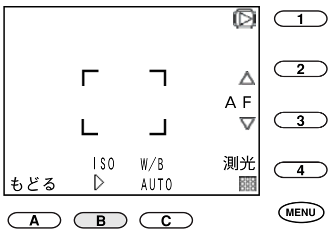
▷	標準感度（ISO100 相当）
▷》	中感度　（ISO200 相当）
▷》》	高感度　（ISO400 相当）

設定は表示パネルで確認することもできます(☞53ページ)。また、ファインダ撮影時も設定可能です。

撮影感度の設定

1 **ダイヤルスイッチを または にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。**

ファインダ撮影時（ ）は MENU ボタンを押します。

プログラム撮影時	マニュアル撮影時
B ボタンを押して設定します。	① A ボタンを押します。 ② B ボタンを押して設定します。

露出補正

露出とは画像全体の明るさのことをいいます。通常は補正の必要がありませんが、意図的に明るくしたり(+側に補正)、暗くする(-側に補正)ことができます(プログラム撮影·マニュアル撮影時)。

設定できる値

- プログラム撮影　-2.0EV ～ +2.0EV 0.5EV 刻みで 9 ステップ
- マニュアル撮影　-2.0EV ～ +2.0EV 0.2EV 刻みで 21 ステップ

設定値は、表示パネルで確認することもできます(☞53ページ)。また、ファインダ撮影時も設定可能です。

次のような場合に補正すると効果的に撮影できます。

■ + 側に補正

- 白色の被写体が灰色にならないよう､白く撮影したい場合(マクロ撮影で白い書類を撮影するときなど)
- 逆光の被写体を明るく撮影したい場合
- 快晴の日の砂浜や雪景色、または白い壁を背景にした人物撮影(背景が真っ白になってしまう可能性がありますが、人物は明るく撮影できます)

■ - 側に補正

- 黒色の被写体が灰色にならないように、黒く撮影したい場合
- 背景が黒い壁での人物撮影

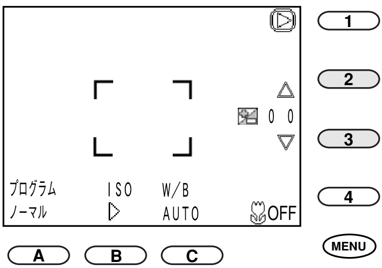
露出補正の設定

1 **ダイヤルスイッチを または にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。**

ファインダ撮影時（ ）は MENU ボタンを押します。

2 **2 3 ボタンを押して露出を補正します。**

2 ボタン　＋側に補正
3 ボタン　ー側に補正



（画面はプログラム撮影の場合）

絞り優先 / シャッタ速度優先 / 露出手動

マニュアル撮影時、絞り値 / シャッタ速度を設定して撮影することができます。

絞り優先	絞り値を設定し、適正な露出になるようにシャッタ速度を自動的に設定し、撮影します。 以下の絞り値が設定できます。 F2.0, F2.3, F2.8, F4.0, F5.6, F8.0
シャッタ速度優先	シャッタ速度を設定すると、適正な露出になるように、設定した値に最も近いシャッタ速度と絞り、感度を自動的に設定し、撮影します。 以下のシャッタ速度が設定できます。 8, 4, 2, 1, 1/2, 1/4, 1/8, 1/15, 1/30, 1/60, 1/125, 1/250,1/500
露出手動（LCD モニタ撮影時のみ）	絞り値とシャッタ速度を、任意に設定することができます。 絞り値は絞り優先と同じ設定値、シャッタ速度は以下の設定ができます。 F2.0、F2.3 選択時 ：1/500 ～ 8 秒 F2.8 選択時 ：1/600 ～ 8 秒 F4.0、F5.6 選択時 ：1/750 ～ 8 秒 F8.0 選択時 ：1/1000 ～ 8 秒

- ズームレンズの望遠（T）側で撮影した場合、設定した絞り値と実際に撮影される絞り値が異なります。
- シャッタ速度を長時間に設定して撮影すると画像が荒くなることがあります。

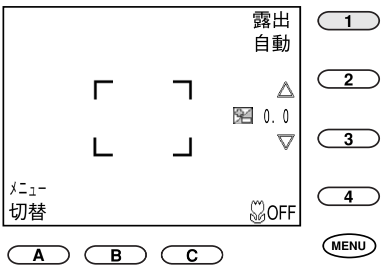
絞り優先 / シャッタ速度優先/露出手動の設定（マニュアル撮影時）

1 ダイヤルスイッチを または にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。

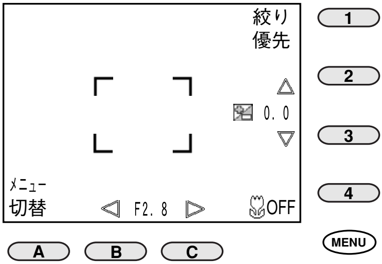
ファインダ撮影時（ ）は MENU ボタンを押します。

2 1 ボタンを押して設定します。

絞り優先・シャッタ優先・露出手動（☞次ページ）

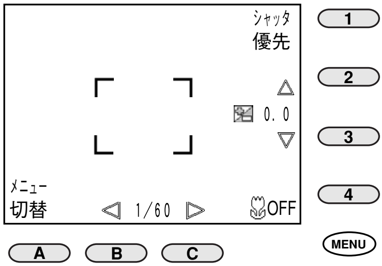


絞り優先画面



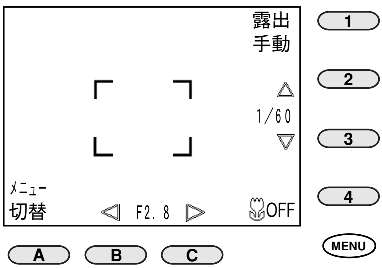
1 ボタン	露出自動・絞り優先・シャッタ優先・露出手動
2 3 ボタン	露出補正　☞60ページ
4 ボタン	ON・OFF (LCDモニタ撮影時のみ) ☞38 ページ
A ボタン	詳細設定画面 ☞56 ページ
B C ボタン	絞り値設定

シャッタ速度優先画面（LCDモニタ撮影時のみ）



1 ボタン	露出自動・絞り優先・シャッタ優先・露出手動
2 3 ボタン	露出補正　☞60ページ
4 ボタン	ON・OFF ☞38 ページ
A ボタン	詳細設定画面 ☞56 ページ
B C ボタン	シャッタ速度設定

露出手動画面（LCDモニタ撮影時のみ）



1 ボタン	露出自動・絞り優先・シャッタ優先・露出手動
2 3 ボタン	シャッタ速度設定
4 ボタン	ON・OFF ☞38 ページ
A ボタン	詳細設定画面 ☞56 ページ
B C ボタン	絞り値設定

LCDモニタ撮影時のみ、露出がオーバーまたはアンダー（±2EV以上）になるとLCDモニタ左上に［EV!］が表示されます。

測光方式

通常は多分割測光で適正露出を決めて撮影しますが、スポット測光に切り替えることができます。
プログラム撮影時の測光方式は、撮影モードによって異なります（☞55ページ）。
フルオート撮影時は多分割測光に固定され、切り替えることはできません。

多分割測光
画面全体を256分割して測光し、適正露出を決めます。
一般的な撮影に適しています。

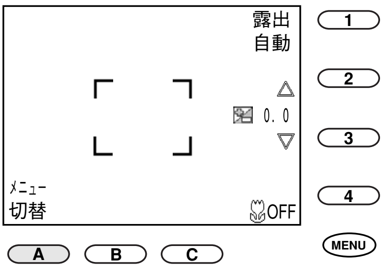
スポット測光
LCDモニタの中央部の狭い範囲を測光し、適正露出を決めます。
逆光下の被写体に正しく露出を合わせる時などに効果的です。

測光方式の設定（マニュアル撮影時）

1 ダイヤルスイッチを または にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

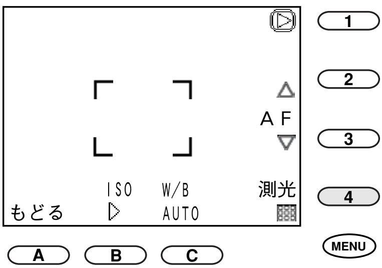
ファインダ撮影時（ ）はMENUボタンを押します。

2 Aボタンを押します。



3 4ボタンを押して設定します。

多分割測光・ スポット測光

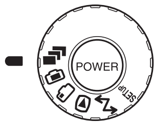


ステッチ撮影

ＬＣＤモニタに撮影した画像の一部が表示され、合成する画像を簡単に撮影することができます。オプション「パソコン接続キット」に付属のアプリケーション「Panorama Boutique Light EP」を使用し、継ぎ目のない合成画像を作成することができます。
ここでは例として、横２枚の合成画像と、横２枚・縦２枚の合成画像を撮影する手順を説明します。

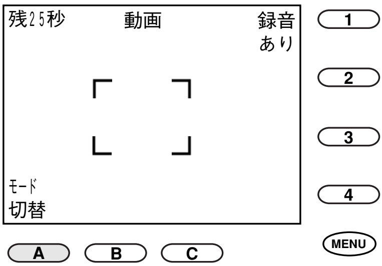
ステッチ撮影について
撮影後にきれいに合成するためには、以下のように撮影することをお勧めします。
- 遠景を撮影する場合
  三脚を使って、カメラを軸に回転させながら撮影する。
  （近くにある建物などを撮影すると、歪みが大きくなります。）
- 近くにある建物などを撮影する場合
  平行にカメラを移動させながら撮影する。
  （ただし、遠景に比べて歪みが出やすいので、なるべく距離を開けて撮影することをお勧めします。）

1 ダイヤルスイッチを にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 Aボタンを３回押してステッチ撮影画面を表示させます。

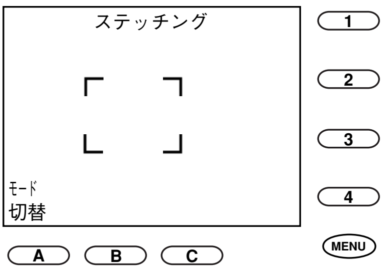
横２枚の合成画像を撮影する
（☞ 本ページ下）
横２枚、縦２枚の合成画像を撮影する
（☞ 次ページ）



横２枚の合成画像を撮影する

3 シャッタボタンを押して１枚目の撮影をします。

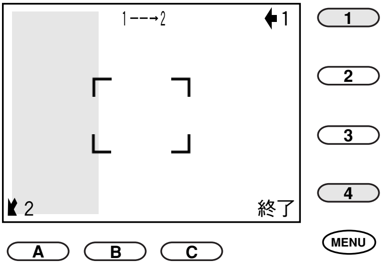
確認画面が表示されます。
4ボタンで削除することができます。



- 1枚目の撮影後は、撮影品質の設定は変えられません。
- ★★★ H（ハイパー /TIFF）では撮影できません。

4 ２枚目を撮影します。

LCD モニタの左に、１枚目の右側が透けて表示されるので、重ね合うように撮影してください。
モニタの上部に画像の番号が表示されます。
1ボタン　１枚目の画像を表示します
4ボタン　終了します



5 4ボタンを押してステッチ撮影を終了します。

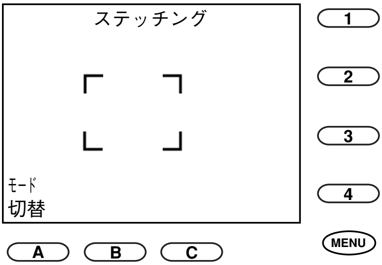
後はコンピュータに保存して、オプション「パソコン接続キット」に付属のアプリケーションを使って合成してください。

横２枚、縦２枚の合成画像を撮影する

はじめに横の 2 枚を撮影してから、縦の 2 枚を撮影します。

3 シャッタボタンを押して１枚目の撮影をします。

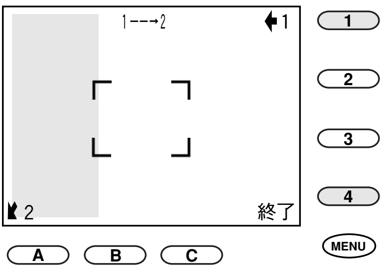
確認画面が表示されます。
4ボタンで削除することができます。



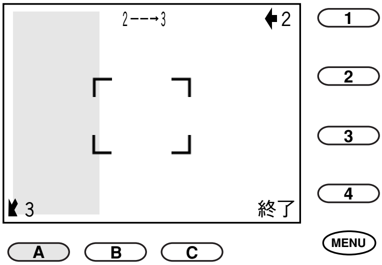
- 1枚目の撮影後は、撮影品質の設定は変えられません。
- ★★★ H（ハイパー /TIFF）では撮影できません。

4 ２枚目を撮影します。

ＬＣＤモニタの左に、1枚目の右側が透けて表示されるので、重ね合うように撮影してください。
モニタの上部に画像の番号が表示されます。
1ボタン　１枚目の画像を表示します
4ボタン　終了します
Aボタン　１枚目の画像の下の撮影画面を表示します



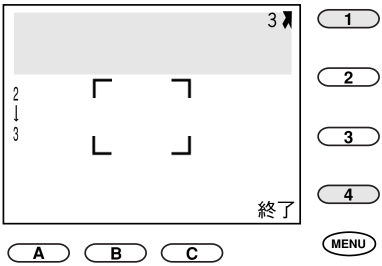
5　[A]ボタンを押します。



6　3枚目を撮影します。

LCDモニタの上に、2枚目の下側が透けて表示されるので、重ね合うように撮影してください。
モニタの左横に画像の番号が表示されます。

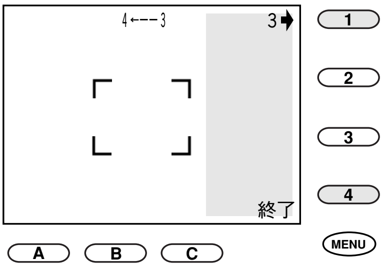
[1]ボタン　2枚目の画像の右の撮影画面を表示します
[4]ボタン　終了します



7　4枚目を撮影します。

LCDモニタの右に、3枚目の左側が透けて表示されるので、重ね合うように撮影してください。
モニタの上部に画像の番号が表示されます。

[1]ボタン　3枚目の画像を表示します
[4]ボタン　終了します



8　[4]ボタンを押してステッチ撮影を終了します。

後はコンピュータに保存して、オプション「パソコン接続キット」に付属のアプリケーションを使って合成してください。

フォーカス距離

マニュアル撮影時、ピントの合う距離を手動で設定できます。

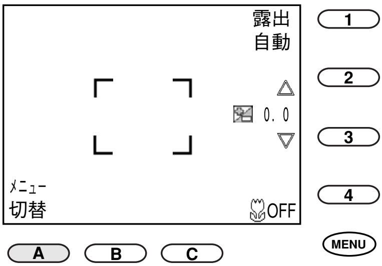
マクロ以外　AF（自動）、[アイコン]（約1m）、[アイコン]（約3m）、[アイコン]（無限遠）
マクロ時　AF（自動）※、M1（約20cm）、M2（約50cm）
※ズームレンズの広角（W）側のみ6cm〜50cmで撮影可能です。広角（W）側以外では20cm〜50cmで撮影できます。

フォーカス距離の設定（マニュアル撮影）

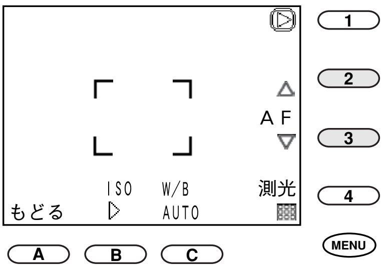
1 ダイヤルスイッチを[カメラ]または[カメラ]にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

ファインダ撮影時（[カメラ]）はMENUボタンを押します。

2 Aボタンを押します。



3 2 3ボタンを押して設定します。



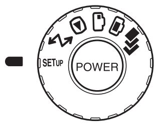
フラッシュの詳細設定

通常のフラッシュの発光は先幕シンクロで行われますが、スローシンクロ時は先幕シンクロと後幕シンクロを選択することができます(プログラム・マニュアル撮影時のみ)。

先幕シンクロ	シャッタが開いた瞬間に発光するので、動く被写体を撮影した場合には、前方に光の軌跡が残ります。
後幕シンクロ	シャッタが閉じる直前に発光するので、動く被写体を撮影した場合には、後方に光の軌跡が残ります。

先幕シンクロ / 後幕シンクロの設定

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

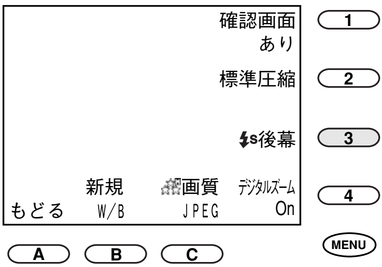


2 4ボタンを押します。



3 3ボタンを押して設定します。

ϟS 後幕　後幕シンクロ
ϟS 先幕　先幕シンクロ



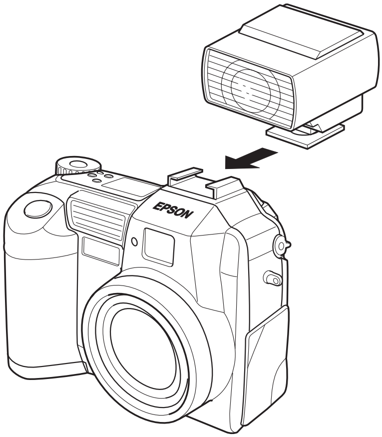
外部フラッシュの使い方

本カメラはフラッシュを内蔵していますが、外部フラッシュをアクセサリシューに取り付けて使用することもできます。ここでは、外部フラッシュの取り付け方と設定のしかたを説明します。

- 動作確認済みのフラッシュについては、エプソン FAX インフォメーション、またはエプソン販売のホームページでご確認ください。
  FAX インフォメーション、エプソン販売のホームページについては、本書の裏表紙をご覧ください。
- フラッシュの使い方については、お使いのフラッシュの取扱説明書をご覧ください。

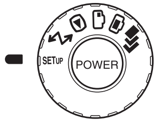
外部フラッシュの取り付け

外部フラッシュをアクセサリシューに取り付けます。

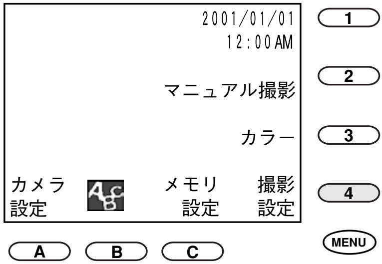


外部フラッシュの設定（マニュアル撮影時）

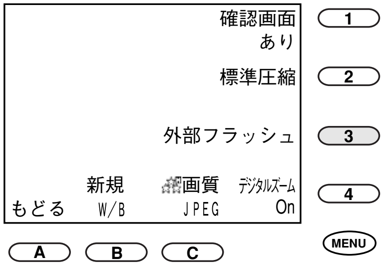
1 ダイヤルスイッチを SETUP にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。



2 [マニュアル撮影] になっていることを確認して、4 ボタンを押します。



3 3 ボタンを押して［外部フラッシュ］を選択します。



4 ダイヤルスイッチを または にして撮影します。

- ［外部フラッシュ］設定時は、カメラの内蔵フラッシュは使用できません。
- フラッシュの設定方法については、お使いのフラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- ［外部フラッシュ］設定時は、絞り優先、露出手動で絞り値を［F2.3］に設定できません。

カメラの機能

ここでは、カメラの応用的な使い方について説明しています。

プリントボタンの使い方（DPOF）

プリントボタンを使い、カメラでDPOF※に対応したプリントアウト指定ファイルを作成し、カメラに装着されたメモリカードに保存して、指定した画像を簡単に印刷することができます。カメラを使用するので、画面を見ながら印刷したい画像を選択することや、コンピュータがなくても撮影した後すぐにプリントアウト指定ファイルを作成することができます。

※DPOFとは、Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した画像をプリントするための情報(プリントしたい画像とその枚数の指定など)を、コンパクトフラッシュやスマートメディアなどの記録媒体に記録するフォーマットです。

プリントアウト指定ファイルを作成すると、以下のことができます。

- オプション「パソコン接続キット」を使用する
  カメラとコンピュータを接続して、「EPSON カメラスタータ」を起動すると、指定した画像だけを「EPSON PhotoQuicker」で印刷することができます。
- メモリカードをカメラから取り出して、DPOF ファイルを読み込めるプリンタにセットする
  DPOFファイルを読み込めるプリンタ(EPSON PM-790PTなど)にプリントアウト指定ファイルが保存されたメモリカードを差し込むと、指定した画像を印刷することができます。
- メモリカードをカメラから取り出して、一般のデジタルプリントサービスを利用することができます。

プリントアウト指定ファイルを作成する

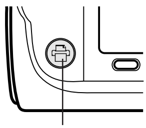
プリント指定機能を使って、プリントアウト指定ファイルを作成します。プリントする画像を指定してから、明るさ、シャープネスなど、PRINT Image Matchingの情報を埋め込むことができます。PRINT Image Matching について詳しくは 74 ページをご覧ください。

1 印刷したい画像を表示します。

再生モードの場合	簡易再生モードの場合
ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。2 3ボタンで画像を選択します。	ダイヤルスイッチを📷にし、POWERボタンを押して電源をオンにし、撮影した後、画像確認画面で1ボタンを押します。 2 3ボタンで画像を選択します。

2 プリントボタンを押して、印刷する枚数を変更します。

ＬＣＤモニタ左上に印刷する枚数が表示されます。９枚まで設定できます。



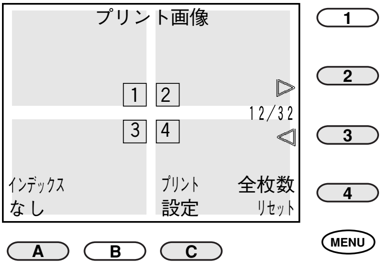
プリントボタンを押し続けると印刷枚数が0枚になり、印刷を取り消します。

プリントアウト指定ファイルを確認する

プリントする画像や枚数を確認することができます。
各画像に印刷する枚数が表示されます。

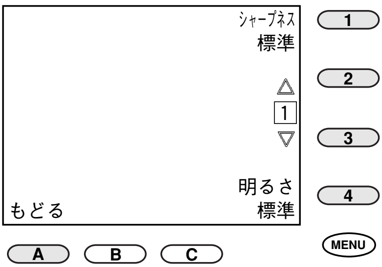
1 **ダイヤルスイッチを にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。**

2 **プリント指定した画像が表示されます。**



2 3 ボタン　画像を選択します
4 ボタン　全画像の印刷枚数を 0 枚にします
A ボタン　インデックス印刷の有無を設定します
C ボタン　プリント設定画面へ
（☞本ページ下）
ズームボタン（W）・（T）
画像を拡大表示する（☞26ページ）
プリントボタン　印刷する枚数を変更します。
プリントボタンを押し続けると 0 枚になり、印刷を取り消します。
再度プリントボタンを押すと印刷する枚数を設定できます。

プリント設定画面



1 ボタン　シャープネスを設定します
標準・強・弱
2 3 ボタン　印刷する枚数を設定します
4 ボタン　明るさを設定します
標準・明るい・暗い
A ボタン　1 の画面に戻ります

- 1 4 ボタンの設定は PRINT Image Matching 機能を使用しています。PRINT Image Matching について詳しくは、次ページをご覧ください。また、CP-920Z 以外のカメラで撮影した画像、★★★H（TIFF）で撮影した画像には、対応しておりません。
- 明るさの設定を変更すると、設定確認の目安としてLCDモニタの画像の明暗が変わります（印刷結果と同じ明るさではありません）。
- シャープネスの設定を変更しても、LCDモニタの表示は変わりません。

PRINT Image Matchingについて

PRINT Image Matchingとは、この機能を搭載したデジタルカメラと、対応プリンタを組み合わせて使用することで、きれいな印刷を簡単に実現することができるシステムです。
デジタルカメラでの撮影時に、プリントコマンドが画像データに付加されます。プリンタは、このプリントコマンドに従って印刷します。そのため、撮影時にデジタルカメラが意図した通りの、最適な色合いで印刷することができます。

PRINT Image Matching対応プリンタ　　2001年3月現在

・EPSON PM-790PT

※最新の情報は、エプソン販売のホームページ、またはエプソンFAXインフォメーションでご確認ください。エプソン販売のホームページ、またはエプソンFAXインフォメーションについては、本書裏表紙をご覧ください。

PRINT Image Matchingを使って撮影するには

カメラで設定する必要はありません。
PRINT Image Matchingは、本機で撮影したすべての画像に、効果的にプリントを行うために必要なプリントコマンドを付加します。特に、プログラム撮影時、フルオート撮影時には、より効果的です。
また、画像の明るさとシャープネスを、手動で設定することができます(☞73ページ)。

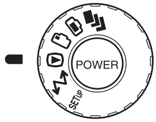
PRINT Image Matchingが必要ない場合は

カメラで設定する必要はありません。
PRINT Image Matchingに対応していないプリンタで印刷する場合や、フォトレタッチソフトウェアなどで修正を行う場合には、PRINT Image Matchingのプリントコマンドが無効となり、通常の画像データとして扱われます。
また、PRINT Image Matchingに対応するプリンタやソフトウェアで、PRINT Image Matching機能をオフにして印刷することもできます。操作方法については、お使いのプリンタまたはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

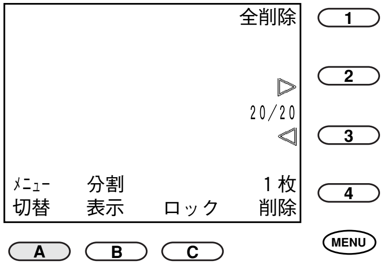
画像の詳細情報

撮影したときの条件が画像の詳細情報として確認できます。

1 ダイヤルスイッチを▶にし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



2 Aボタンを押します。

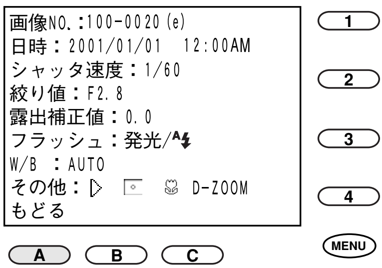


3 1ボタンを押します。



4 画像の詳細情報が表示されます。

Aボタンを押すと、3の画面に戻ります



（画面は例です）

表示される情報

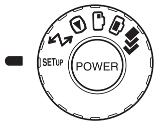
画像No.	メモリカードのフォルダ名と画像番号 例)100-0001 [100EPSON]フォルダにある、0001番目の画像を表す 末尾の(e)はDCF基本ファイル(☞102ページ)であることを表す
日時	年/月/日 時:分
シャッタ速度	8～1/1000秒
絞り値※	F2.0～F10.1
露出補正値	+2.0～-2.0
フラッシュ	発光,非発光/A⚡, ⚡, ⚡, ⚡S , 👁 , 外部
W/B(ホワイトバランス)	AUTO,固定,カスタム
その他	🌷:マクロ, D-ZOOM:デジタルズーム, 撮影感度, 測光方式など

※ズームレンズの望遠(T)側で撮影した場合、設定した絞り値と実際に撮影される絞り値が異なります。

日時設定

日時を変更することができます。

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

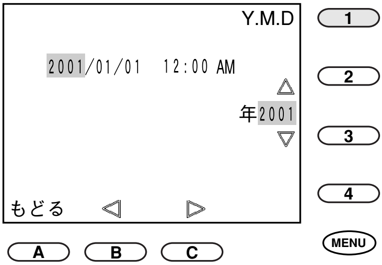


2 1ボタンを押します。

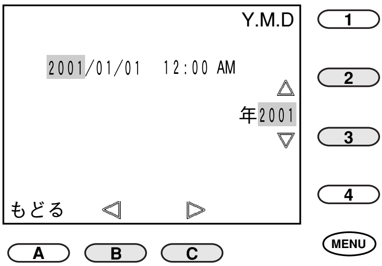


3 1ボタンで日時の表示方法を設定します。

Y.M.D　年.月.日
M.D.Y　月.日.年
D.M.Y　日.月.年



4 BCボタンで項目を移動し、23ボタンで数値を変更します。



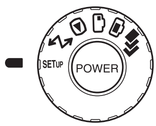
5 設定が終わったら、Aボタンを押します。

メモリ設定

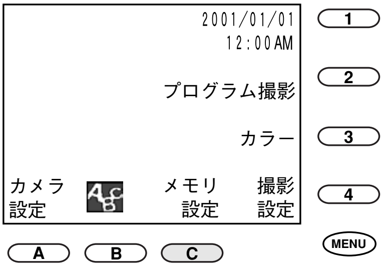
メモリカードの初期化（フォーマット）

> **ポイント** メモリカードに保存されているすべてのデータが消去されますのでご注意ください。必要な画像はコンピュータに転送して保存するなど、必ずバックアップを取ってください。

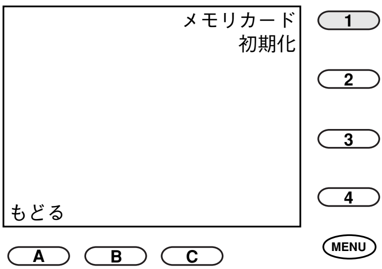
1. ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。



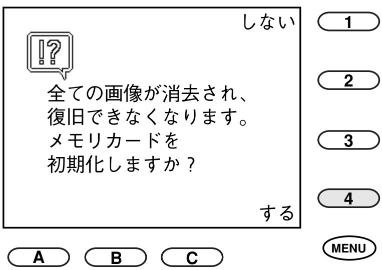
2. Cボタンを押します。



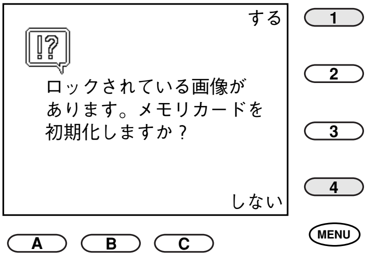
3. 1ボタンを押します。



4. 表示内容を確認し、実行するには4ボタンを押します。

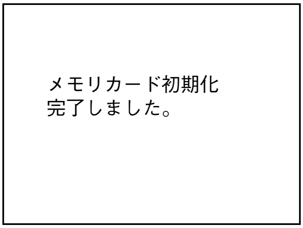


ロックされている画像がある場合、右の画面が表示されます。初期化する場合は1ボタン、中止する場合は4ボタンを押します。



5 右の画面が表示されたらフォーマットは終了です。

3 の画面に戻ります。

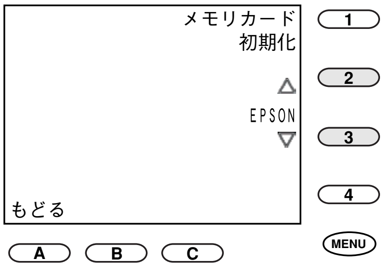


再生フォルダの変更

選択したフォルダ内の画像を再生します。

1 前ページの 3 の画面で[EPSON]と表示された場合、2 3ボタンでフォルダを選択します。

通常は[EPSON]のままでお使いください。
[EPSON] と表示されない場合、フォルダを変更することはできません。



2 Aボタンを押します。

メモリ設定

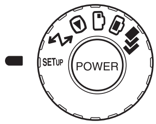
言語・ビデオ信号方式

画面に表示される言語と、テレビに接続する時のビデオ信号方式を設定することができます。通常は変更する必要がありません。

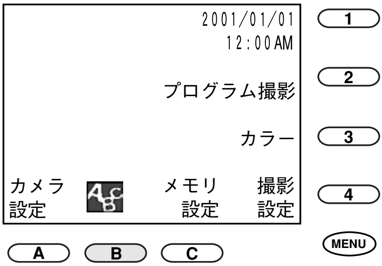
ビデオ信号方式について

ビデオ信号方式にはNTSCとPAL方式があり、国によって異なります。日本はNTSC方式ですので、通常は[NTSC]のままでお使いください。

1 ダイヤルスイッチを SETUP にし、POWER ボタンを押して電源をオンにします。



2 B ボタンを押します。

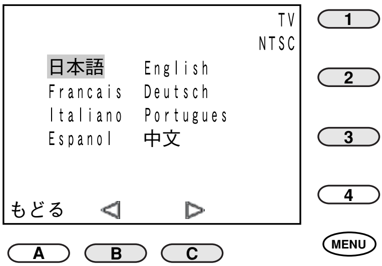


3 言語・ビデオ信号方式設定画面が表示されます。

1 ボタン　NTSC・PAL（通常は[NTSC]でお使いください）

A ボタン　**2** の画面に戻ります。

B C ボタン　言語選択（通常は［日本語］でお使いください）



4 設定が終わったら、A ボタンを押します。

節電設定

本カメラは、一定時間が経過すると節電機能が働き、自動的に電源がオフになり、電池の無駄な消費を防ぎます。

節電について

節電機能が働くまでの時間や節電からの復帰方法は、カメラの状態によって異なります。

カメラの状態 （ダイヤルスイッチの位置）	節電機能が働くまでの時間	復帰方法 （以下のボタンを押す）
 ※1   ※2	設定した時間経過後 （30秒、1分、5分）	シャッタボタン または POWER ボタン
SETUP 	設定した時間経過後 （30秒、1分、5分）	背面のいずれかのボタン または POWER ボタン
 ※3	5分経過後	

※1 ファインダ撮影時にメニュー画面を表示している場合は、最後の操作から15秒後、またはシャッタボタンを半押しするとメニュー画面が消えます。MENU ボタンを押すと表示します。

※2 動画撮影中は節電機能は働きません。インターバル撮影時は、1枚目の撮影後にLCDモニタの表示が消え、設定した時間が経過すると次の撮影を行います。

※3 静止画再生時、またはスライドショーで停止または一時停止中は、最後の操作から5分後に節電状態になります。

ACアダプタ接続時

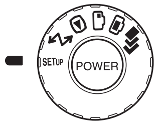
節電設定にかかわらず、最後の操作から15分後に節電状態になります。

ただし、インターバル撮影時は、1枚目の撮影後にLCDモニタの表示が消え、設定した時間が経過すると次の撮影を行います（☞40ページ）。

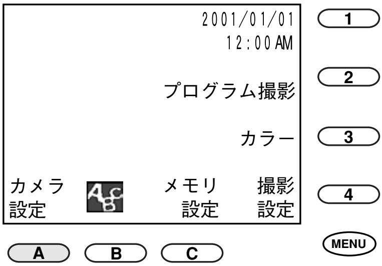
コンピュータに接続している場合は、節電機能は働きません。

節電の設定

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

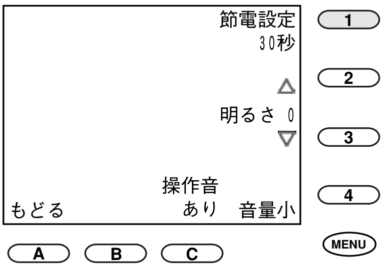


2 Aボタンを押します。



3 1ボタンを押して設定します。

30秒(出荷時設定)・1分・5分

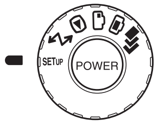


4 設定が終わったら、Aボタンを押します。

LCD モニタの明るさ調整

LCD モニタの明るさを調整します。

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、POWERボタンを押して電源をオンにします。

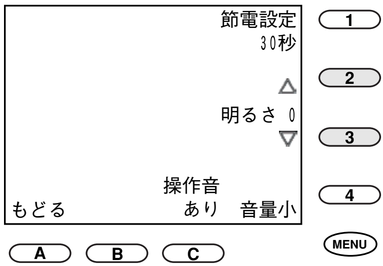


2 Aボタンを押します。



3 23ボタンを押して設定します。

2ボタン　明るくなる
3ボタン　暗くなる

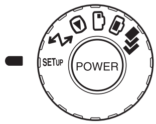


4 設定が終わったら、Aボタンを押します。

操作音・音量の設定

撮影音や、カメラ背面のボタンを押すときに鳴る操作音、音声メモ、動画を再生するときの音量を設定することができます。

1 ダイヤルスイッチをSETUPにし、[POWER]ボタンを押して電源をオンにします。



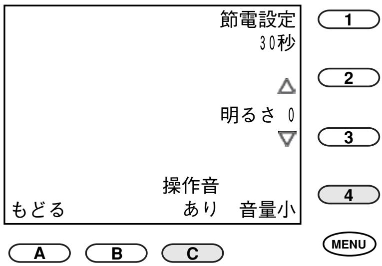
2 [A]ボタンを押します。



3 [4]または[C]ボタンを押して設定します。

[4]ボタン　音量大・音量小
[C]ボタン　操作音と撮影音を設定します

操作音あり（出荷時設定）
　操作音・撮影音が鳴ります
操作音なし
　操作音・撮影音が鳴りません
撮影音撮影時
　撮影時の撮影音のみ鳴ります



4 設定が終わったら、[A]ボタンを押します。

2 の画面に戻ります。

オプションの紹介

ここでは、オプションについて説明しています。

オプション

パソコン接続キット

パソコン接続キットには、USB接続用の専用ケーブルとソフトウェアCD-ROMが同梱されています。

商品名	型番	備考
パソコン接続キット	CP92PCK	USB接続ケーブル ソフトウェア CD-ROM ・CP-920Z USBドライバ ・EPSON Photo!4 ・EPSON PhotoQuicker ・Panorama Boutique Light EP ・EPSONファイルコンバータ ・電子マニュアル『ソフトウェアガイド』

対応コンピュータについて

Windows	USBポートを標準搭載した以下のシステムのコンピュータ ・Windows 98 プレインストールマシン ・Windows Me※ ・Windows 2000※
Macintosh	USBポートを標準搭載したMacintoshでMac OS 8.5.1以上のシステム

※ Windows 98 プレインストールマシンからのアップグレードも可。

バッテリーキット

商品名	型番	備考
バッテリーキット	CPNMBK2	同梱物 ・充電器 ・AC100V用電源ケーブル ・ニッケル水素電池（4本）
ニッケル水素バッテリーパック	CPNMBP	同梱物 ニッケル水素電池(4本)のみ 交換用電池としてお買い求めください

※ニッケル水素電池は約500回の充放電ができます(使用状況により異なります)。

ACアダプタ

電池残量を心配せずにカメラを使用することができます。

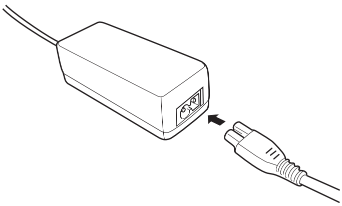
商品名	型番	同梱物
AC アダプタ	CPAD4	・AC アダプタ 本体 ・AC100V 用電源ケーブル

接続のしかた

注意
- 別冊『安全にお使いいただくために／サービス・サポートのご案内』と、AC アダプタに付属の取扱説明書をお読みになった上、正しくお使いください。
- AC アダプタは必ず「CPAD4」をお使いください。「CPAD4」以外の AC アダプタをお使いになった場合、故障や火災・感電のおそれがあり危険です。

1 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。

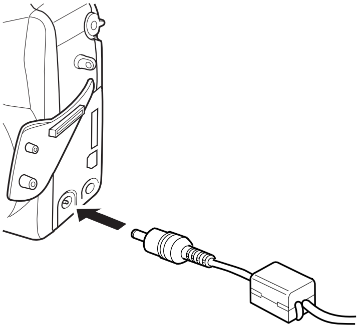
電源ケーブルは奥まで確実に接続してください。



2 電源がオフになっていることを確認します。

3 カメラのコネクタカバーを開け、AC アダプタを接続します。

ACアダプタは奥まで確実に接続してください。

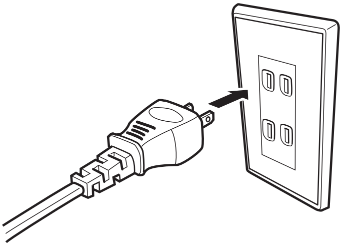


注意
コネクタカバーは強く引っ張らないでください。 破損するおそれがあります。

4 電源プラグをAC100Vの家庭用電源コンセントに差し込みます。

必ず、壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。

電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。



困ったときは

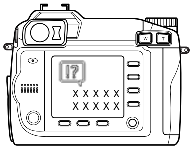
ここでは、困ったときの対処方法について説明してます。

故障かな?と思ったら

現在の症状が以下のどれに当てはまるかを選び、それぞれの参照先をご覧ください。

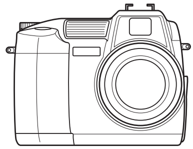
■LCD モニタに注意のメッセージが表示される

☞次ページ



■カメラ本体のトラブル

☞92 ページ



オプション「パソコン接続キット」同梱のソフトウェア使用時のトラブルについては、オプション「パソコン接続キット」同梱の『スタートアップガイド』または『ソフトウェアガイド（電子マニュアル）』も併せてご覧ください。

⚠注意

次のような場合は故障と考えられますので、すぐに電池(ACアダプタ・充電器使用時は電源プラグ)を抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

- カメラ本体、充電器、ACアダプタが極端に発熱する(非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる
- 変な臭いや、嫌な音がする、煙が出る

カメラ内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。感電のおそれがあります。

なお、エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙をご覧ください。

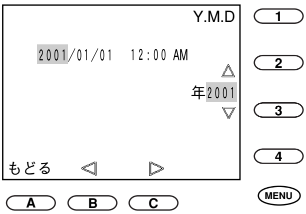
故障のとき

カメラ本体には、お客様自身で修理・交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙をご覧ください。

メッセージ一覧

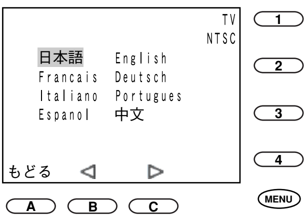
LCD モニタにメッセージが表示された場合は、内容に応じて次のように対処してください。

メモリカードが異常です。 確認してください。	原因	セットしたメモリカードが正常に動作しません。
	対処	78ページの手順に従ってメモリカードを初期化してください。 大切なデータが保存されている場合、コンピュータにデータを保存した後、初期化を実行してください。

	原因	電池を長時間外したため、日時設定が初期化されました。
	対処	4ページの手順に従って日時を設定してください。

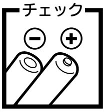
メモリカードが挿入 されていません。	原因	メモリカードがセットされていません。
	対処	9ページの手順に従って、メモリカードをカメラにセットしてください。

レンズキャップを はずしてください。	原因	レンズキャップが付いています (撮影ランプが緑色に点滅します)。
	対処	レンズキャップを外してください。

	原因	なんらかの原因でカメラが工場出荷時の状態に戻りました(故障ではありません)。
	対処	Bボタンで[日本語]を選択し、Aボタンで確定します。 この後は[日時設定]画面が表示されるので、4ページの手順に従って日時を設定してください。

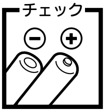
カメラ本体のトラブル

カメラの電源が入らない



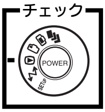
電池が正しくセットされていますか?

⊕⊖の向きに注意して正しくセットしてください(☞2 ページ)。



電池残量は十分にありますか?

電池残量が少なくなると、表示パネルに アイコンが表示されます(☞3ページ)。電池を交換してください(☞2 ページ)。



ダイヤルスイッチをしっかりと回していますか?

ダイヤルスイッチを使用するモードにしっかりと回し、POWERボタンをしっかりと押してください(☞x ページ)。

撮影できない



電源が入っていますか?

上記「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。



レンズキャップが付いていませんか?

レンズキャップを外してください。



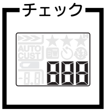
メモリカードをセットしましたか?

メモリカードをセットしないと撮影できません（☞9 ページ）。



シャッタボタンを斜めに押していませんか?

シャッタボタンは上からまっすぐに押してください。



表示パネルの残り撮影可能枚数の表示が0になっていませんか?

メモリカードの容量がなくなり、撮影できません。必要な画像はコンピュータに転送して保存するなど必ずバックアップを取ってから、必要ない画像を消去してください(☞29ページ)。



撮影ランプが赤色に点灯していませんか?

一旦電源をオフにしてください。再度またはにして、POWERボタンを押して電源をオンにしてみてください。
POWERボタンを押しても電源をオフにできない場合は、電池およびACアダプタを外し、セットし直してからPOWERボタンを押して電源をオンにしてください。
それでも赤色に点灯する場合は、カメラの故障と思われますので、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙をご覧ください。

しばらくすると電源がオフになってしまう



節電機能が働いていませんか?

節電状態からの復帰方法については81ページをご覧ください。

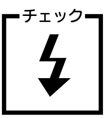
撮影に時間がかかる



シャッタボタンを一度に押し込んでいませんか?

シャッタボタンを軽く押して(半押し)ピントを合わせてから、シャッタボタンを押しこんで(全押し)撮影してください(☞12ページ)。
※シャッタボタンを一度に押し込んで撮影すると、ピント合わせや露出の決定などの処理を同時に行うため、シャッタボタンを押してから撮影されるまでのタイムラグ(時間の差)が長く感じられます。

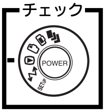
フラッシュが発光しない



フラッシュの設定は正しいですか?

に設定されているときには発光しません(☞20ページ)。
また、外部フラッシュに設定されていると内蔵のフラッシュは発光しません(☞69ページ)。

LCD モニタに画像が表示されない



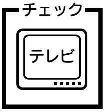
ダイヤルスイッチをしっかりと回していますか?

ダイヤルスイッチをにしっかりと回し、POWER ボタンをしっかりと押してください(☞x ページ)。



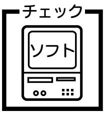
節電機能が働いていませんか?

節電状態からの復帰方法については 81 ページをご覧ください。



テレビに接続していませんか?

テレビに接続しているときには、LCD モニタは表示されません。ただし、オプションのACアダプタを使用している場合は、テレビとLCD モニタの両方が表示されます。



カメラとコンピュータを接続していませんか?

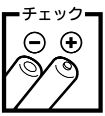
オプションの「パソコン接続キット」を使い、カメラとコンピュータを接続しているときには、LCDモニタは表示されません。

LCD モニタで撮影後、LCD モニタの表示が消える



節電機能が働いていませんか?

例えば節電設定が[30 秒]の場合、操作後 30 秒後に節電状態になります。設定を変更することもできます(☞81 ページ)。
節電状態からの復帰方法については 81 ページをご覧ください。



電池残量は十分にありますか?

電池残量が少なくなると、フラッシュ充電中にLCDモニタの表示が消えることがあります。

LCD モニタの表示が暗い

LCD モニタの明るさを調整してください(☞83 ページ)。

LCD モニタの縦方向に線が入る

強い光にカメラを向けていませんか?

LCDモニタで撮影時、強い光が入るとLCDモニタの縦方向に線が見えることがあります。これはCCDの特性により表示されるもので、実際には撮影されません。

テレビに画像が表示されない

カメラの電源は入っていますか?

92 ページ「カメラの電源が入らない」を参照し、対処してください。

カメラとテレビが正しく接続されていますか?

同梱の AV ケーブルをしっかりと接続してください(☞34 ページ)。

テレビの入力切替は正しいですか?

テレビの[テレビ/ビデオ切替]などで、カメラが接続されている端子からの入力画像を表示する画面にします。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ビデオ信号方式の設定は正しいですか?

日本国以外の国で購入されたテレビ、あるいは日本以外の国で使用されているテレビは、ビデオ信号の規格の違いにより、カメラの画像を表示できないことがあります(日本は NTSC 方式)。
お使いのテレビの信号方式に合わせて設定することができます(☞80ページ)。

撮影した画像の品質上のトラブル

ぼけている、ピントが合っていない



ピント合わせを正しく行いましたか?

本カメラはオートフォーカス機構を搭載しています。シャッタボタンを軽く押すことで(半押し)、ピントが合います(☞17 ページ)。



被写体からの距離は正しいですか?

通常の撮影では被写体から50cm以上離れて撮影してください。マクロ撮影では、6cm～50cm の距離でピントが合います(☞38 ページ)。



レンズが汚れていませんか?

レンズが汚れていたら、市販のブロアやエアブラシで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください(☞107 ページ)。



撮影時に手ブレしませんでしたか?

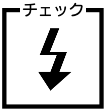
手ブレを防ぐためには、脇をしっかり締めてカメラを持ってください。手ブレが心配な場合や、夜景などの暗い場所での撮影は、三脚をお使いください。三脚の仕様については、109 ページをご覧ください。



撮影時にレンズに手を触れませんでしたか？

レンズに無理な力が加わると、正常に撮影できないことがあります。その場合、一旦電源をオフにしてから電源をオンにしてください。

画像が暗すぎる



フラッシュを使って撮影してください。

フラッシュが届く範囲については、20 ページをご覧ください。
外部フラッシュをご使用の場合は、お使いのフラッシュの取扱説明書をご覧ください。



露出をプラスに補正してみてください。

露出をプラスに補正することで、明るめに撮影することができます(☞60 ページ)。



高感度で撮影してみてください。

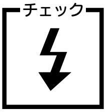
フラッシュを使えない場所などでは、高感度に設定することをお勧めします(☞59 ページ)。

画像が明るすぎる



強い光源に向かって撮影していませんか?

カメラの向きを変えるなど、撮影方法を工夫してみてください。



被写体までの距離が近い場合、フラッシュを使わずに撮影してください。

フラッシュを (発光禁止)に設定してください(☞20ページ)。逆に暗くなりすぎてしまう場合、高感度で撮影することをお勧めします(☞59 ページ)。



露出をマイナスに補正してみてください。

露出をマイナスに補正することで、暗めに撮影することができます(☞60 ページ)。

画像の一部が欠けている



レンズをふさいで撮影しませんでしたか?

手、ショルダーストラップ、服などで、レンズがふさがれた可能性があります。



ファインダを正しくのぞきましたか?

ファインダから目を離してのぞいたり、斜めからのぞくと、意図した構図で撮影できないことがあります。目を近づけて、まっすぐにのぞいてください。



被写体から近い距離で、ファインダをのぞいて撮影しませんでしたか?

被写体からおよそ 1m以内の近距離でファインダをのぞいて撮影した場合、レンズとファインダの位置の違いにより、ファインダ枠内に収まっていても撮影されない部分があります。LCD モニタで撮影することをお勧めします(☞14 ページ)。

色がイメージと異なる



ホワイトバランスの設定は正しいですか?

- 蛍光灯下で[固定]に設定すると、印象より緑がかぶった画像になります。この場合、[AUTO]で撮影してみてください。
- 以下の場合には、[固定]にすることで、イメージに近い画像で撮影できます。
  夕暮れ時などの薄赤い色の雰囲気を生かした撮影をしたい場合
  白熱電灯など、照明の雰囲気を生かした撮影をしたい場合
- ホワイトバランスを厳密に調整するには、カスタム設定を行います(☞58ページ)。

お問い合わせいただく前に

「故障かな?と思ったら」の内容をすべて確認しても、現在の症状や不明点が解決できない場合は、内容に応じてそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

各種サービス・サポートについては別冊『安全にお使いいただくために/サービス・サポートのご案内』をご覧ください。

■ カメラの故障

電源が入らない、撮影できない、フラッシュが光らないなど、カメラの故障の場合は、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのエプソンの修理窓口へご相談ください。
※ エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙をご覧ください。

■オプション「パソコン接続キット」使用時のトラブル

カメラとコンピュータの接続方法、ソフトウェアの起動方法、ソフトウェア使用時のトラブルについては、オプション「パソコン接続キット」に同梱されている『スタートアップガイド』または『ソフトウェアガイド(電子マニュアル)』をご覧ください。

お問い合わせ先については、オプション「パソコン接続キット」同梱の『スタートアップガイド』の裏表紙に記載されています。

付録

ここでは、次の内容について説明してます。

画像ファイル形式について

本カメラでは、DCF※という規格に基づいて、画像ファイルを保存します。

※DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の規格略称です。

メモリカード内のディレクトリ(フォルダ)構成

- **画像ファイル**

  ¥(ルートディレクトリ)ー[DCIM]ディレクトリー[100EPSON]ディレクトリ※2ー画像ファイルなど

※2 本カメラでは、最初に[100EPSON]フォルダが自動作成され、10000個目のファイルから[101EPSON]フォルダが作成され保存されます。以降、同じ規則でフォルダが増えます。

- **動画ファイル**

  ¥(ルートディレクトリ)ー[MOVIE]ディレクトリー動画ファイル

> 注意
> メモリカード内のフォルダは自動的に作成されます。メモリカード内のフォルダ名を変更すると、画像が再生できなくなるなど、カメラが正しく動作しないおそれがありますのでご注意ください。

本カメラで保存されるファイル

1枚の画像につき、以下のファイルが作成されます。

●画像ファイル	ファイル名.JPG
●画像ファイル(TIFF)	ファイル名.TIF
●音声メモ(録音時のみ)	ファイル名.WAV
●動画ファイル	ファイル名.MOV

ファイル名の例

Epsn0001.JPG

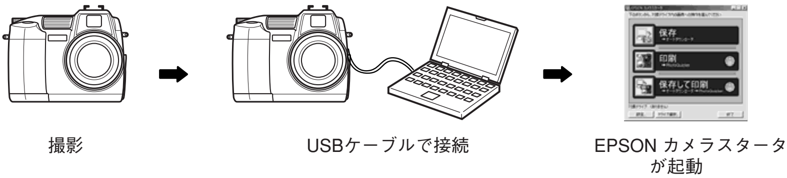
（0001：コマ番号）

コマ番号　　撮影日時に関係なく、撮影された順番を表します（4桁）

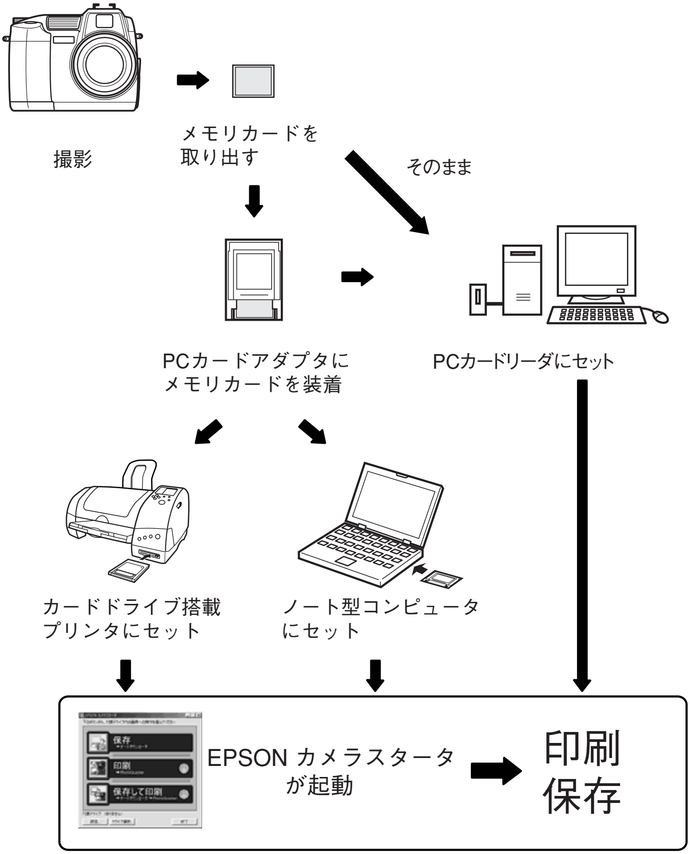
「パソコン接続キット」を使う

オプションの「パソコン接続キット」を使うと、カメラとコンピュータを接続するだけで、簡単に印刷することや、画像をコンピュータに保存することができます。

USB ケーブルを使って接続



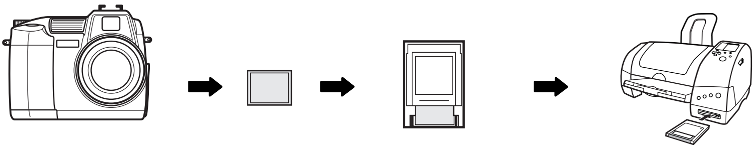
メモリカードを使う



カードドライブ搭載プリンタで印刷する

コンピュータなしで簡単に印刷

EPSON PM-790PT、PT-100/110を使うと、コンピュータを使用せずに、簡単に印刷することができます。



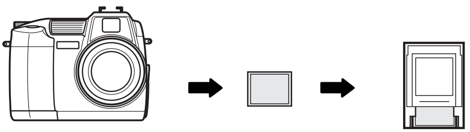
撮影

PCカードアダプタにメモリカードを装着

プリンタにカードをセットして印刷

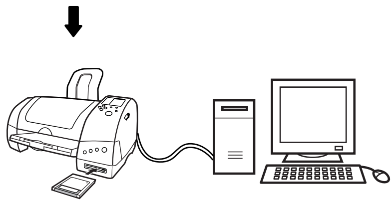
カードドライブ搭載プリンタを使って印刷

EPSON PM-790PT/800DC/820DCと、プリンタに添付のソフトウェアを使うと、印刷だけでなく、画像をコンピュータのハードディスクに保存することができます。



撮影

PCカードアダプタにメモリカードを装着



プリンタにカードをセット

印刷・保存

メモリカードの画像をコピーする

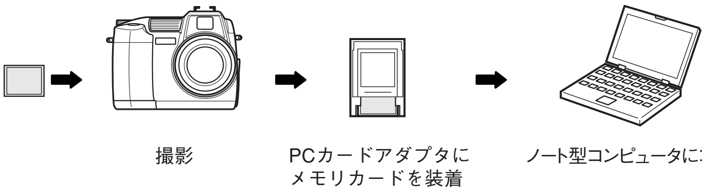
ノート型コンピュータやPCカードリーダを接続したコンピュータに、直接画像をコピーする方法を説明します。

- PC カードアダプタは、本製品に同梱されておりません。
- コンピュータで動画を再生するには「QuickTime 4」以上が必要です。QuickTime について詳しくは、アップルコンピュータ社のホームページをご覧ください。

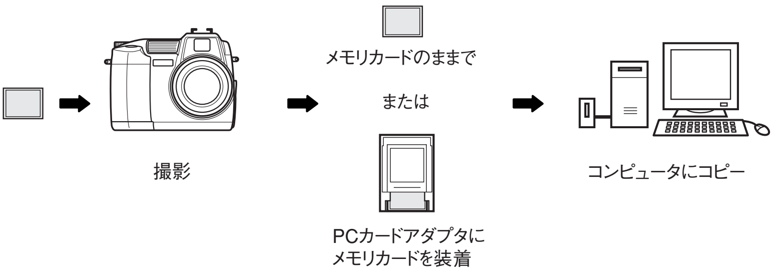
必要な環境

以下のいずれかの環境が必要です。

- PC カード(TypeⅡ)を使用できるコンピュータ



- PC カードをコンピュータに読み込むための機器※を接続したコンピュータ
  ※メーカーによって異なりますが、一般的に PC カードリーダなどと呼ばれています

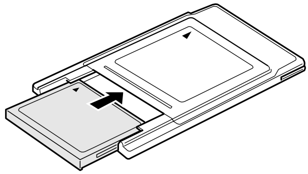


コピーのしかた

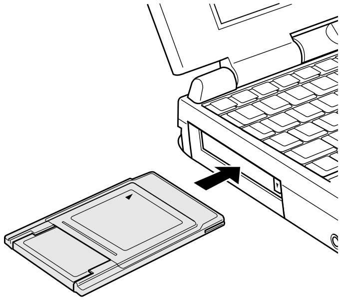
ここでは、ノート型コンピュータを例に、手順の流れを説明します。詳しくは、お使いのコンピュータ、PC カードリーダなどの取扱説明書をご覧ください。

1 メモリカードをカメラから取り出します(☞10 ページ)。

2 メモリカードをPCカードアダプタに取り付けます。



3 コンピュータにPCカードを装着します。



4 メモリカード内の画像を、ハードディスクの適当なフォルダにコピーします。

メモリカード内のフォルダ構成については、102ページをご覧ください。
Windowsではエクスプローラ、Macintoshではドラッグ＆ドロップで、ファイルをコピーします。
これで画像のコピーは終了です。

> ポイント
> 本カメラでは、メモリカードをPC-DOSフォーマットで使用します。そのため、Macintoshでメモリカードをフォーマットすると、カメラで認識されないことがありますのでご注意ください。

お手入れ

良好な状態で使っていただくために、必要に応じて次のようなお手入れをしてください。

⚠注意

カメラをお手入れの際は、必ずACアダプタを取り外してください。
感電のおそれがあります。

カメラが汚れたときは

本体の清掃

- 外装ケースの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかな布を浸し、布をよく絞ってから汚れをふき取った後、乾いた柔らかい布でふいてください。
- レンズが汚れたら、市販のブロアやエアブラシで吹き飛ばすか、柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
- LCDモニタの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

注意
シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は絶対に使用しないでください。外装の表面などが変形・変質するおそれがあります。

電池などの清掃

電池の⊕⊖端子部と、カメラの電池カバー内側の⊕⊖接点部に付着した汚れは、乾いた柔らかい布で、きれいにふき取り、常にきれいな状態でお使いください。

注意
- シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は、絶対に使用しないでください。変形、変質するおそれがあります。
- カメラの電池セット内部は、絶対にふかないでください。故障のおそれがあります。

カメラを保管するときは

> 注意
> カメラは精密な電子部品で作られていますので、保管場所には十分ご注意ください（☞ 別冊『安全にお使いいただくために／サービス・サポートのご案内』7 ページ）。

- カメラケースに入れて保管してください。
- カメラを長期間使用しない場合は、電池を外し、カメラケースに入れて、涼しいところに保管してください。

基本仕様

一般

外形寸法(本体)	108mm(幅)x89mm(高さ)x65mm(奥行)
重量	358g(電池、メモリカード、ショルダーストラップ、レンズキャップ含まず)
電源	・単３形アルカリ電池（LR6）４本 ・単３形ニッケル水素電池(Ni-MH) ４本 ・充電式単３形ニカド電池（Ni-Cd）４本 （単３形マンガン電池、単３形リチウム電池は使用できません）
外部電源	専用 AC アダプタ(オプション)
電池寿命	＜アルカリ電池使用時＞ ファインダ撮影　4000 枚以上撮影可能 LCD 撮影（節電設定 30 秒）　155 枚以上撮影可能 再生モード　３時間 30 分以上使用可能 ※ 測定は当社測定条件によります。本製品に同梱のアルカリ乾電池（4本）を使用した場合です。 ＜ニッケル水素電池使用時＞ ファインダ撮影　4000 枚以上撮影可能 LCD 撮影（節電設定 30 秒）　180 枚以上撮影可能 再生モード　４時間以上使用可能 ※ 測定は当社測定条件によります。オプションのバッテリーキットまたはバッテリーパック同梱のニッケル水素電池（4 本）を完全に充電した場合です。
三脚の仕様	JIS B7103 1/4 対応

光学系

CCD	1/1.8 型カラーエリア CCD(334 万画素)　正方画素 補色フィルター 総画素　2140x1560 画素(有効画素 2088x1550 画素) 実使用画素　2048x1536 画素
レンズ	f=7mm-21mm (34mm-102mm 相当：35mm フィルム換算) F2.0-F2.5　７群８枚（非球面２枚）
絞り	F2.0、F2.3、F2.8、F4.0、F5.6、F8.0 の６段階
ファインダ	光学実像式(視野率 約 83%) 視度調整有
フォーカス	オートフォーカス / マニュアルフォーカス
撮影範囲	0.5m ～∞(通常時) 0.06m ～ 0.5m(マクロ時、ズームレンズ広角(W)側のみ)※ ※広角(W)側以外は0.2m～0.5m
シャッタ	メカニカルシャッタ併用式電子アイリス制御シャッタ
シャッタ速度	F2.0、F2.3 選択時　：1/500 ～８秒 F2.8 選択時　：1/600 ～８秒 F4.0、F5.6 選択時　：1/750 ～８秒 F8.0 選択時　：1/1000 ～８秒

内蔵フラッシュ	自動(プリフラッシュ方式自動調光オート)/ 強制発光 / 発光禁止 / 後幕・先幕式スローシンクロフラッシュ発光 / 赤目軽減
露出制御	多分割測光式プログラムオート(絞り、シャッタ速度可変式) スポット測光式プログラムオート(絞り、シャッタ速度可変式) マニュアル補正可(-2EV ～ +2EV 0.5EV/0.2EV ステップ) AE ロック機能有り
感度	ISO100 相当(ISO200/400 相当の高感度モード有り)
ホワイトバランス	TTL 方式オートホワイトバランス / 固定モード(太陽光のみ、色温度 5200°K)/ カスタム設定

画像（音声・動画）

カメラファイルシステム	Design rule for Camera File system(DCF)、DPOF 対応
画像・音声・動画 ファイルシステム	画像：JPEG 準拠（Exif2.1）、音声：WAVE 形式 動画：MOV(QuickTime Movie)形式
画像サイズ	2544x1904 ピクセル(★★★ᴴ ハイパー) 2048x1536 ピクセル(★★★ᴴ TIFF/ ★★★高精細) 1600x1200 ピクセル(★★精細) 640x480 ピクセル(★標準)
動画サイズ	320x240 ピクセル
色	フルカラー(24 ビット)/ モノクロ

メモリ

内蔵 ROM	2MB(プログラム用のみ)
外部メモリ	CompactFlash Memory Card(コンパクトフラッシュメモリカード) Type I対応 16MB同梱(4MB～256MB対応) PC-DOSフォーマット　512B/Sector

LCD モニタ

サイズ / 液晶	1.8 型 低温ポリシリコン TFT カラー液晶
画素数	約 11 万画素 (512x218 画素)
撮影表示	TTL 画像再生 (再生レート 1/30 秒、暗所使用時 1/10 秒) 撮影時　視野率 98% 以上 再生時　記録画像 100%表示
輝度調整	7 段階に設定可

インターフェイス(外部コネクタ)

ビデオ出力	専用AVケーブル（NTSC/PALビデオ出力）
DC電源入力	専用ACアダプタ用DC入力端子
USB通信	専用USBインターフェイス
メモリカード	コンパクトフラッシュインターフェイス CompactFlash Card Type I対応

画像処理時間

	撮影処理時間(通常撮影)	再生処理時間
★　標準	約0.7秒	約0.5秒
★★　精細	約1.0秒	約0.5秒
★★★　高精細	約1.0秒	約0.5秒
★★★H　ハイパー	約18秒	約0.5秒
★★★H　TIFF	約22秒	約0.5秒

※ 画像確認画面なしの場合です

画像ファイルサイズ

撮影品質	ファイルサイズ（低圧縮/標準圧縮）
★　標準	平均約129KB/79KB
★★　精細	平均約529KB/279KB
★★★　高精細	平均約1MB/529KB
★★★H　ハイパー	平均約1.2MB
★★★H　TIFF	約9MB

※ JPEG形式により画像データを圧縮して保存します。被写体により画像ファイル容量が異なります（TIFFを除く）

環境使用条件

温度	5℃　～35℃（動作時） -20℃～60℃（保存時）
湿度	30%　～80%（動作時 非結露） 10%　～80%（保存時 非結露）

索引

数　字

アルファベット

アイウエオ

索引

電波障害自主規制について─注意─

この装置は、情報処理装置電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合､VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので､必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（　PC-11-1988に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

ご注意

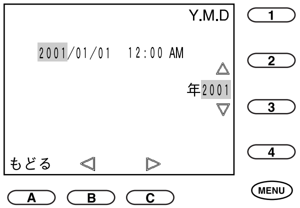
(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
この場合、修理等は有償で行います。

撮影 ダイヤルスイッチ またはモード

①レンズキャップを外す
②ダイヤルスイッチ（ファインダ撮影時）
または（LCDモニタ撮影時）にし、
POWERボタンを押して電源をオンにする。
③ファインダまたはLCDを見てアングルを固定。
④シャッタボタンを軽く押してピントを固定。
→撮影ランプ緑色に点灯
⑤そのまま押し込み撮影。
→撮影ランプ緑色に点滅

ファインダ撮影時は、デジタルズーム、（マクロ）、
簡易再生モードを使用できません。

LCDモニタに表示されるメニューの操作方法（例）



※ファインダ撮影時は、MENU ボタンを押してメニュー画面を表示します。

再生モード ダイヤルスイッチ

再生画面

- 1：全削除
- 2 / 3：画像切り替え
- 4：1枚削除
- C：ロック
- B：分割表示［1/1・1/4・1/9］
- A：メニュー切替
  - 1：詳細情報（撮影した画像の詳細情報を表示）
  - 4：動画［再生・削除・再生方向・分割表示］
  - C：録音（音声メモ）［録音・再生・消去・分割表示］
  - B：スライドショー［音声・スタート・縦横変換・分割表示］

プログラム撮影

- 1：簡易再生モード*
- 2 / 3：+/−（露出補正の設定）
- 4：（マクロ）［ON・OFF］*
- C：W/B（ホワイトバランスの設定）［AUTO・固定・CUSTOM］
- B：ISO（撮影感度）［（標準）・（中）（高）］
- A：
  - ・プログラムノーマル
  - ・プログラムスポーツ
  - ・プログラムポートレート
  - ・プログラム風景

マニュアル撮影

- 1：
  - ・露出自動
  - ・絞り優先
    - ・絞り[F2、F2.3、F2.8、F4、F5.6、F8]
  - ・シャッタ優先*
    - ・シャッタ速度[8〜1/500]
  - ・露出手動*
    - ・シャッタ速度[8〜1/500秒（F2、F2.3）、8〜1/600秒(F2.8)、8〜1/750秒（F4、F5.6)、8〜1/1000秒(F8)]
    - ・絞り[F2、F2.3、F2.8、F4、F5.6、F8]
- 2 / 3：+/−（露出補正の設定）
- 4：（マクロ）［ON・OFF］*
- A：メニュー切替 → 詳細設定画面

詳細設定画面

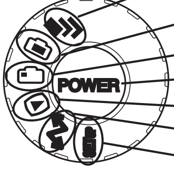
- 1：簡易再生モード*（LCD撮影時は・露出自動・絞り優先）
- 2 / 3：フォーカス距離
  - マクロ以外［AF(自動)、（約1m）（約3m）、（無限遠）］
  - マクロ時［AF(自動)、M1（約20cm）・M2（約50cm）］
- 4：測光［多分割測光、スポット測光］
- C：W/B（ホワイトバランスの設定）［AUTO・固定・CUSTOM］
- B：ISO（撮影感度）［（標準）・（中）（高）］
- A：マニュアル撮影画面にもどる

*LCDモニタ撮影のみ設定可

CP-920Z クイックガイド－ I

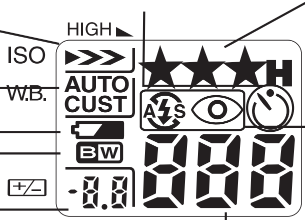
EPSON

ダイヤルスイッチ



- 特殊撮影　動画撮影/連写撮影/インターバル撮影/ステッチ撮影
- LCD撮影
- ファインダ撮影
- POWER ボタン
- 撮影した画像をLCDモニタに表示
- 拡張機能／接続モード
- セットアップモード

表示パネル



- セルフタイマ
- 撮影感度 *
- ホワイトバランス *
- 電池残量低下
- モノクロ
- 露出補正値 *
- 撮影可能枚数目安

撮影品質

★★ → ★★★ → ★★★H → ★

精細　高精細　ハイパー/TIFF　標準

フラッシュ

自動発光　赤目軽減　強制発光　発光禁止　スローシンクロ *

＊ プログラム撮影・マニュアル撮影のみ設定可

CP-920Z クイックガイド－ II

EPSON

セットアップ画面

ダイヤルスイッチ SETUP

セットアップ画面

- 1 日時設定画面
- 2 ・フルオート撮影 ・プログラム撮影 ・マニュアル撮影
- 3 ・カラー ・モノクロ
- 4 撮影設定画面
- C メモリ設定 メモリカード初期化
- B （言語設定）画面
- A カメラ設定画面

撮影設定画面

- 1 確認画面［あり・なし］
- 2 圧縮率［標準圧縮・低圧縮］
- 3 フラッシュ設定 ［S 後幕・S 先幕・外部フラッシュ］
- 4 デジタルズーム［On・Off］
- C 画質設定［JPEG・TIFF］
- B W/B（ホワイトバランスのカスタム設定）
- A セットアップ画面にもどる

カメラ設定画面

- 1 節電設定［30秒・1分・5分］
- 2 3 明るさ（LCDモニタ表示の明るさ設定）
- 4 音量［大・小］
- C 操作音［あり・撮影時・なし］
- A セットアップ画面にもどる

EPSON

●エプソン販売のホームページ「**I Love EPSON**」**http ://www.i-love-eps on.co.jp**

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　在　地	ドア to ドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認下さい。

●修理に関するお問い合わせ先

拠点名	電話番号	管轄地域	拠点名	電話番号	管轄地域
札幌FC	(011) 222-7590	北海道全域	京都FC	(075) 255-6891	京都・滋賀
仙台FC	(022) 214-7625	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島	広島FC	(082) 222-3482	山口・広島
松本FC	(0263) 54-7302	長野・山梨	岡山FC	(086) 223-3331	鳥取・島根・岡山・広島（福山市）
東京SC	(0424) 80-4811	東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城・新潟	四国FC	(087) 851-6728	香川・愛媛・高知・徳島
名古屋FC	(052) 202-9510	愛知・岐阜・三重	福岡FC	(092) 622-8626	福岡・佐賀・長崎・大分
静岡FC	(054) 251-1360	静岡	北九州FC	(093) 541-3155	福岡北部
金沢FC	(076) 224-7084	石川・富山・福井	熊本FC	(096) 326-4519	熊本
大阪FC	(06) 6397-0930	大阪・奈良・和歌山	鹿児島FC	(099) 254-5913	鹿児島・宮崎
神戸FC	(078) 332-9905	兵庫	沖縄FC	(098) 858-3301	沖縄

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570―00―4116（ナビダイヤル）※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
※携帯電話・PHSからはナビダイヤルはご利用いただけけませんので、042-585-8555へお問い合わせください。
※ナビダイヤルとは、NTTの電話サービスの名称です。この番号は全国一律の通話料金でご利用になれます。
通話料金はダイヤル後、接続前にご案内させていただきます。通話料金のご案内の間は通話料金はかかりません。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221−7911　東京(042)585−8500　名古屋(052)202−9532　大阪(06)6397−4359　福岡(092)4

●エプソンデジタルカレッジ（スクール）に関するお問い合わせ・お申し込み

東京　TEL(03)5295-4169　FAX(03)5295-4168【受付時間】月曜日～金曜日10:00～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
大阪　TEL(06)6634-8570　FAX(06)6634-2570【受付時間】水曜日を除く毎日10:00～12:00/13:00～17:30（弊社指定休日を除く）
※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム　※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア秋葉原　〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
【開館時間】毎日 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア大阪日本橋　〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
【開館時間】毎日 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及び**エプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120 ―251528**　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2000. 11. 1（A）

PRINT Image Matching 搭載

この取扱説明書は70%再生紙（表紙は40%）を使用しています。

Printed in Japan 01.XX-XX